



家庭教育サポートブック

(講座・研修会のヒント集)



【令和 8 年度版】



目 次



p. 1 目次

p. 2～11 第1章 「子どもの生活習慣に関する指針」

- 1 趣旨
 - 2 指針策定の視点
 - 3 みんなで取り組む生活習慣づくり「やまがた子育て5か条」
 - 4 「やまがた子育て5か条」の活用について
 - 5 指針の策定に至るまでの経過
- 参考 1～4

p. 12～16 「やまがた子育て5か条リーフレット」の内容について

p. 17～45 第2章 令和7年度 県教育委員会や市町村教育委員会実施の
家庭教育に関する講座・研修会

- p. 19 令和7年度 県家庭教育アドバイザー 一覧
- p. 20～23 やまがた子育て講座
- p. 24～27 幼児共育ふれあい広場
- p. 28～35 家庭教育支援フォーラム
- p. 36～40 子どもの読書活動推進研修会
- p. 41～45 子どもの読書活動推進講座

p. 46～64 第3章 県家庭教育アドバイザー

- p. 48 令和8年度 県家庭教育アドバイザー 一覧
 - p. 49～55 村山地区 13名
 - p. 56～58 最上地区 4名
 - p. 59～61 置賜地区 5名
 - p. 62～64 庄内地区 5名
- 計 27 名

p. 65 令和7年度 家庭教育支援推進協議会 委員名簿

第1章

「子どもの生活習慣に関する指針」

子どもの生活習慣に関する指針

1 趣 旨

本指針は、教育基本法に示されている、「子どもが生活習慣を身につけ、心身の調和のとれた発達を図る」ため、各家庭に生活習慣について見直すことを促すとともに、家庭と学校、地域がそれぞれの果たすべき役割と責任を自覚し、社会全体で子どもたちの生活習慣づくりを見守っていかうとする気運を高めていくことをねらいとしています。

2 指針策定の視点

全国学力・学習状況調査から浮かび上がった本県の子どもの実態を踏まえ、指針策定の視点を以下の3つに整理しました。

(1)指針策定の視点

- ①基本的な生活習慣の中で、普遍的なものを身につける。
- ②学習状況調査から、山形の子どもたちが優れているところを伸ばす。
- ③学習状況調査から、課題となる点を改善する。

(2)指針作成の骨子としてとりあげる項目(上記3つの視点との関連)

- ・あいさつを自ら気持ちよくすること…①
- ・早寝、早起きをすること…①・②
- ・朝ごはんを確実に取ること…①・②
- ・学校や家庭のきまり、友だちとの約束を守ること…②
- ・地域等の行事に関心をもつこと…②
- ・家庭で、授業の予習や復習をすること…②
- ・充実した家庭学習をすること…③
- ・長時間のテレビ(DVD・ビデオ含む)視聴をすること…③
- ・長時間、ゲームに興じること…③
- ・日常的にある程度まとまった時間、読書をする…③

山形の子どもたちの生活習慣に関する実態のうち、全国に比して顕著なものを10項目取り上げました。「優れている点」は「山形の子どもたちの特長」としてさらに伸ばしていく方向で、「改善を要する点」は、その根拠を示しながら改善に向けての方針を明らかにして「目指す子どもたちの姿」を示すこととしました。

3 みんなで取り組む生活習慣づくり「やまがた子育て5か条」

子どもの生活習慣に関する指針

みんなで取り組む生活習慣づくり

「やまがた子育て5か条」

- 1 身に付けよう 早寝早起き朝ごはん
知力・体力 朝から全開
- 2 こつこつやろう わが家の学び
毎日続けて 知力を耕す
- 3 心をつなごう 親子の対話
よさを引き出す あったかことば
- 4 かしく付き合う TVやスマホ
しっかり守ろう わが家のルール
- 5 体験しよう 地域の中での豊かな学び
郷土で培う人間力

1 身に付けよう 早寝早起き朝ごはん 知力・体力 朝から全開

- (1) 早寝早起きの規則正しい生活により、体の調子を整えたりするのに必要なホルモンが分泌され、睡眠の質が向上したり、丈夫な体を作ったりすることができます。特に、成長ホルモンが大量に分泌されるのが夜10時頃からと言われており、睡眠時間を確保するためにも、決まった時刻に早く寝ることが大切です。
- (2) 朝ごはんをしっかり取ることで、脳の唯一のエネルギー源であるブドウ糖をチャージします。学習や運動の効果を高めるとともに、落ち着きある生活のもととなります。
- (3) 朝、気持ちよく起きたり、朝ごはんをおいしく食べたりするためには、前日早く寝ることが欠かせません。「早寝」「早起き」「朝ごはん」の習慣を一体的に改善していくことが大切です。

2 こつこつやろう わが家の学び 毎日続けて 知力を耕す

- (1) 家庭での学習習慣（宿題、読書、自主学習等）の定着は、学習内容の定着につながります。日々の積み重ねを習慣化させることは、自ら進んで学習する態度を育てていきます。
- (2) 習慣化させるためには、①いつもの時間に始める、②いつもの場所で始める、③子どもの努力を見逃さず褒める等、親として手助けできるところに十分にかかわってほしいものです。
- (3) お子さん自身が家庭学習を習慣化できるようになるまで、保護者として見守っていきましょう。必要に応じて手を差し伸べることも大切です。やがてお子さん自身が自立し、自分の力でできるようになるまで、寄り添う姿勢を持ちたいものです。
- (4) 読書は、その人の世界観を広げてくれます。自分で読む力を付けるまでは、読み聞かせによって読書活動の楽しみ方に触れさせることができます。純粹にストーリーを楽しむことに加え、語感を磨く、語彙を増やす、文字や言葉の理解を深める、文章構成力を高める、知識を豊かにすること等、様々な力を目覚めさせ、伸ばしていきます。

3 心をつなごう 親子の対話 よさを引き出す あったかことば

- (1) 子どもたちのコミュニケーション能力は、親子のスキンシップや家族での団らんが土台となり、様々な人との交流や体験を通して、自らの実感・納得や感動を経験することによって育まれていきます。
- (2) 集団生活の中で友達と一緒に学習したり遊んだりするための基本ツールとして、あいさつ、返事、正しい言葉づかいを身に付けたいものです。コミュニケーション力を育むための基礎基本です。
- (3) 子どもの言語環境をつくる中で最も身近な存在は、保護者です。保護者として子どもに身に付けさせてあげたいことは、保護者自身が生活の中でその姿を見せることです。

4 かしく付き合う TVやスマホ しっかり守ろう わが家のルール

- (1) 山形県の子どもたちは、テレビ視聴（DVD視聴含む）に長時間費やす割合が全国と比べて高い傾向にあります。最近の脳科学の研究では、TV、ゲーム、スマートフォン等の使用時間によっては、学習の効果を打ち消してしまうという結果¹もあるようです。各家庭でのルールづくりはもちろん大切なことです。
- (2) きまりを守ることや節度を保つことは、自分を律する強い精神を育みます。また、きまりを守る子はみんなに愛され、自己肯定感が高まります。自分で判断力を磨く生活の繰り返し、子どもの自主性を高めます。
- (3) スマートフォン等の節度ある使い方をお子さん自身に身につけさせたいと願うならば、保護者自身がその模範となる姿を示していきましょう。

5 体験しよう 地域の中での豊かな学び 郷土で培う人間力

- (1) 子どもの頃の「自然体験」や「地域活動」等の体験が豊富な人ほど、「何事にもチャレンジしてみたいという意欲」や「規範意識」「人間関係能力」が高いという調査結果²があります。
- (2) 学校での学びを生かす場、社会性を身に付ける場として、地域行事に積極的に参加させましょう。人とのコミュニケーションを磨く場です。
- (3) 山形には先人が受け継ぎ、守り育んできた素晴らしい文化があります。優れた山形の文化に子どものうちから触れさせたいものです。そして山形に誇りをもち、自分の郷土を愛する芽を育てていきたいものです。

¹ 川島隆太監修 横田晋務著「やってはいけない脳の習慣」青春出版社

² 国立青少年教育振興機構「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」

4 「やまがた子育て5か条」の活用について

(1) 保護者への学習の機会

子どもの生活習慣を見直すきっかけとして最も影響を与えやすいのは、保護者の皆さんです。子どもに身につけさせるためには親が模範となり、家族みんなで取り組もうとする、強いリーダーシップを発揮していくことが大切です。

幼稚園・保育所・認定子ども園・小学校・中学校において

- ・ P T A総会 ・ P T A研修会 ・ 学年懇談会 ・ 学級懇談会
- ・ 母親委員研修会 ・ 入学説明会 ・ 就学時健診 ・ 親子学習

地区での学習、研修の機会において

- ・ 県及び地区単位の P T A研修会 ・ 地区座談会 ・ 学区懇談会
- ・ やまがた子育て講座 ・ 幼児共育ふれあい広場
- ・ 家庭教育支援フォーラム ・ 指導者等研修会
- ・ スポーツ少年団（市町村における研修会・育成母集団ごとの研修会）

その他

- ・ 市町村で実施される乳幼児健康診査
- ・ 青少年育成市町村民会議
- ・ 職場の研修

各家庭に指針の情報が行き渡るよう、これまで培ってきた家庭教育支援に関する推進体制及び取組みの機会を最大限活かしていきます。

(2) 県家庭教育アドバイザーによる講座・研修

山形県教育委員会では、家庭教育支援について豊富な経験と知識を持ち、県が推し進める事業等について専門的な立場で協力くださる方を「山形県家庭教育アドバイザー」として委嘱し、県事業や市町村が実施する保護者向け講座等で活動していただいています。

県家庭教育アドバイザーの方々には、「子どもの生活習慣に関する指針」の推進役として今後活動していただく予定です。各種研修会では、「指針」の趣旨や理念について十分に御理解いただいたうえで、「親としてのかかわり方」等、具体的な講話や相談を実施します。

5 指針の策定に至るまでの経過

県民視点での指針策定となるよう、各方面の代表者で構成されている山形県家庭教育支援検討部会の委員より、本指針の策定にかかる策定委員として務めていただきました。平成 29 年 6 月から 10 月までの間に計 3 回に渡りその検討を重ねてきました。

山形県家庭教育支援検討委員（策定委員）

大学教員、医師、子育て支援関連 NPO 法人代表、県 PTA 連合会代表
県連合小学校長会代表、県家庭教育アドバイザー地区代表者（4 名）
県子育て推進部次長(兼)子育て支援課長、県教育庁義務教育課長

（1）策定委員会における主な協議事項

○第 1 回（平成 29 年 6 月 13 日開催）

「策定委員会の立ち上げについて」「指針策定の趣旨説明」
「指針の骨子について」「策定委員の意見聴取」

○第 2 回（同 年 8 月 30 日開催）

「意見の整理・確認」「事務局案①に対する策定委員の意見聴取」

○第 3 回（同 年 10 月 31 日開催）

「事務局案②に対する策定委員の意見聴取」
「策定委員による指針に掲げる 5 項目の整理」

策定委員会の提言を反映させた事項

- ・できる限り保護者へ呼びかける形式で標語を作成すること。
- ・親が子を認めることなど、子どもの自尊感情を育めるようなものも明記すること。
- ・先輩の成功体験を盛り込むこと。
- ・小さいときからの言語環境を整えるはたらきかけを盛り込むこと。
- ・親が子どもの模範となることを、改めて提言すること。
- ・「子どもの学ぶ意欲」を高めるための提言を盛り込むこと。
- ・保護者に押し付ける形ではなく、保護者ができているところを認められるよう、重点 5 項目についてはさらに具体的な行動様式レベルでチェックできるようにすること。
- ・保護者に提示する学習資料は A4 判では大きすぎる、女性（母親）でも手軽に扱うことのできるサイズを考慮すること。

（２）山形県総合教育会議での意見

○第４回山形県総合教育会議（平成 28 年 10 月 31 日開催）
テーマ「学力向上に向けた家庭教育の充実」に関する協議

○第６回山形県総合教育会議（平成 29 年 10 月 30 日開催）
テーマ「確かな学力の育成」に関する協議

県総合教育会議の提言を反映させた事項

- ・積極的に活用してもらうような取組みを提示すること。
- ・TV 視聴等の家庭のルールづくりを訴えていくこと。
- ・全国学力・学習状況調査のデータを活用し、望ましい生活習慣についてわかりやすく情報発信すること。
- ・家庭学習の取り組み方について、情報発信すること。
- ・家庭教育支援について、各家庭に周知徹底、認知の必要性を考慮すること。
- ・家庭、地域、学校の連携による推進を図ること。

（３）山形県社会教育委員の会議での意見

○第 182 回山形県社会教育委員の会議（平成 30 年 2 月 15 日開催）

県社会教育委員の会議の提言を反映させた事項

- ・家庭の中で「みんなで取り組んでいこう」となるよう、親も子どもと一緒に取り組んでいくことが大事であるということを訴えていくこと。
- ・自然体験の重要性も加えて盛り込むこと。

これら諸会議での協議事項を踏まえ、その具現の在り方を検討するとともに、子どもの生活習慣改善に効果的な方策を打ち出しました。

参考1 「第7次山形県教育振興計画」(7教振)との関連

本計画では、本県教育の目標を「ウェルビーイングを目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり」と掲げています。この目標を実現するためには、県民一人ひとりが自分事としてとらえ、家庭・地域が当事者としてそれぞれの役割を果たしながら前向きに取り組むことが大切になります。そこで、目指すべき行動や考え方等として保護者、家庭の皆様に向けて、下記の3点を例示しています。

- ・家庭は子どもの学びや社会性を育む原点となる
- ・子どもが自分で育つ力を信じ、遠くから見守りながら困った時は手を差し伸べる
- ・家庭は子どもが安らげる場所となる など

また、目標の実現に向けて、4つの重点的な取組み(「体験」「探究」「尊重」「協働」)を「県民みんなでチャレンジ」として掲げました。取組みごとに、「子どもたち」「家庭」「地域の大人」の各々が、どのようなチャレンジを行うかが例示されています。

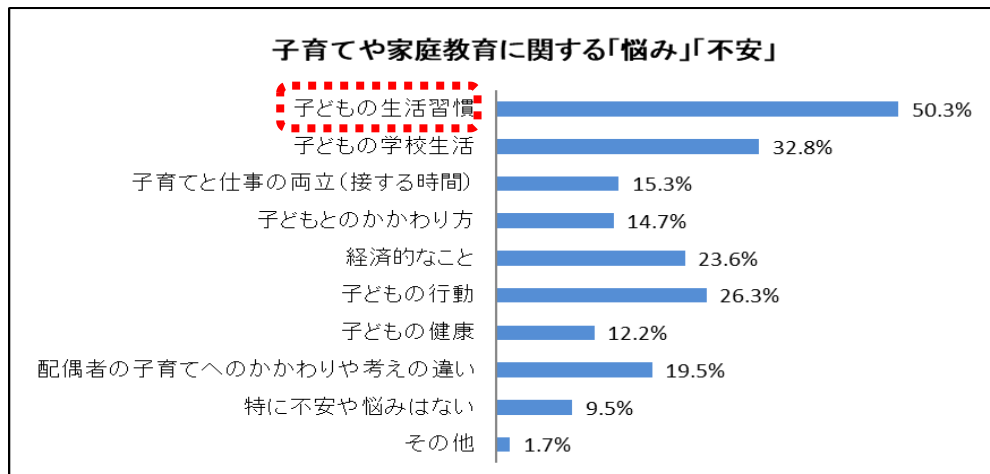
県教育委員会は、7教振を踏まえ、様々な取組みを通して家庭教育の充実に努めていきます。また、県教育委員会が委嘱している県家庭教育アドバイザーをはじめとする家庭教育を支援する方々と共に、社会全体で家庭教育を推進していきます。

本指針が、子どもの生活習慣を見つめるきっかけとなるとともに、保護者に対する情報提供用の資料として活用されることが期待されます。

参考2 保護者のニーズとの関連

山形県教育委員会では、家庭教育に関する保護者の学習機会として、「やまがた子育て講座」を行っています。参加した保護者の方々のアンケートからは、「子育てや家庭教育に関する『不安』や『悩み』」に関して、「子どもの生活習慣」と回答した保護者が全体の50.3%を占めることがわかりました。子どもの日常生活習慣について、直接的に関わる立場でありながら、約半数の保護者が何らかの不安を抱えたまま生活しているということになります。このような家庭の状態に対し、不安を解消できるようにするための具体的な支援が必要となっています。

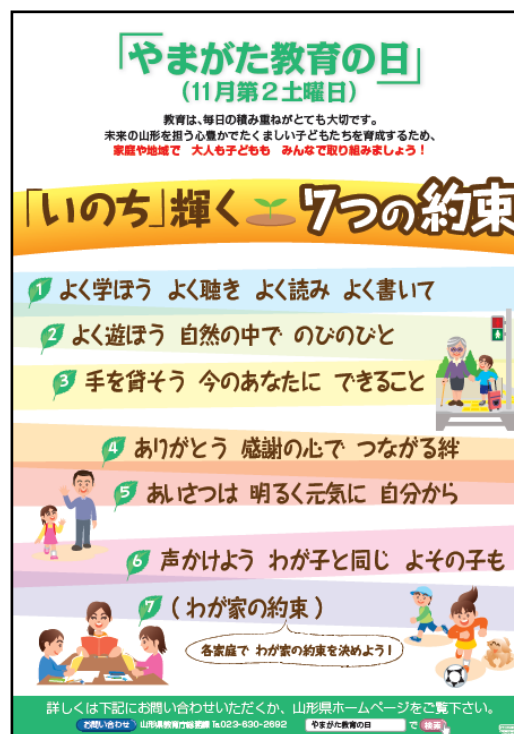
令和5年度 やまがた子育て講座アンケート結果(回答者数 2,880 名・複数回答)



参考3

『いのち』輝く7つの約束との関連

平成 24 年に山形県教育委員会が策定した「やまがた教育の日」の趣旨では、学校、家庭及び地域の連携・協力の下、本県教育の充実に向けた取組みを推進することにより、未来の山形を担う心豊かでたくましい子どもたちを育成することを掲げており、本指針の趣旨と合致します。また、「『いのち』輝く7つの約束」の理念を継承しつつ、その7番目に掲げられている項目「わが家の約束」として具体的に各家庭で取り組む参考事例となるよう、積極的に活用いただくことを念頭に置き、指針策定において検討を重ねてきました。



- やまがた教育の日
- 『いのち』輝く 7つの約束

これらについての情報は、下記の URL のサイトを御覧ください。

<https://www.pref.yamagata.jp/700001/bunkyo/kyoiku/iinkai/kyouikuiinkai/kyouikunohisuishin/yamagata-kyoikunohi.html>



左記HPはこちらから

参考4

- 教育基本法
(家庭教育)

第 10 条 父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

(学校、家庭及び地域住民の相互の連携協力)

第 13 条 学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。

学習資料の内容について【1ページ目】

「子どもの生活習慣に関する指針」学習資料

やまがた

みんなで取り組む生活習慣づくり

子育て5か条

子どもには、本来、自らの力で心身ともに成長する力が備わっています。
その力を目覚めさせ、子ども自身の育ちを支援していきましょう。

1 身に付く

早寝早起
知力・体力

3 心をつなごう

親子
よさを
あつた



家庭教育支援
(山形県HP)

名称「やまがた子育て5か条」について

「子育て」とは…
子どもたちに本来備わっている「自分自身の力で成長する力」を目覚めさせ、引き出していきたいという強い願いが込められています。
親が「育てる」というよりも、「子が育つ」ことを支えることに主眼を置いた表し方です。

令和8年度に新たに追加した点

「家庭教育のエッセイ」、県教育委員会や市町村の取り組み紹介
家庭教育に関する県ホームページにリンクします。サイト中では、県家庭教育アドバイザーが、保護者向けに子育てについて応援のメッセージを寄せています。ぜひご覧ください。
また、平成4年度以降の「家庭教育支援フォーラム」「やまがた子育て講座」「幼児共育ふれあい広場」の事例を見ることができます。

※令和7年度までの5か条リーフレットでは、「子どもの生活習慣づくり応援」と表記されていますが、二次元コードを読み取ると「家庭教育支援」のページにリンクします。

学習資料の内容について【2・3ページ目】

文言(表現)について

「正答率が高い人は毎日同じくらいの時刻に起きて、朝食を食べている。」とは言えても、「毎日同じ時刻に起きて朝食を食べれば、正答率が高くなる。」とは言いにくいものがあります。「同じ時刻に起きる」「毎日朝食を食べる」ということが、よりよい生活のリズムをつくり子どもの能力を目覚めさせることにつながるという理解が適切です。

習慣づくりを提案します。

1 朝に付けよう
早起早起朝ごはん 知力・体力 朝から金満
おはよう。 ちゃん自分で起きられたね。一緒に朝ご飯を食べよう。
おはよう。
カーテンを開けて、部屋に朝日を入れましょう
はじめの一步
毎日同じくらいの時刻に起きて、朝食を食べている人は、学力調査で正答率が高い傾向にあります。(R5全国学力・学習状況調査より)

2 つつこつやる
我が家の学び 毎日続けて 知力を磨く
約束の時間だね。自分から始められていいね。
そろそろ宿題やろうかな。
お父さん。学校で楽しいことがあったのよ。
子どもの話を最後まで聞くようにしましょう
はじめの一步

3 ひそひそこ
親子の時間 よさを引き出す あったかことば
よかったね。どんな楽しいことがあったの？
近所のおばあちゃんの郷土料理教室楽しかった。家でも作ってみようかな。
楽しかっただね。一緒に作るから教えて。

4 かしく付き合う
TVやスマホ しっかり守ろう 我が家のルール
今日はゲーム 何時までの予定なの？
今日は、6時30分まで。あと10分。
※1 子どもの頃 親にほめられながら、がまんする心や社会のルール等を教えてもらえた人は、「物事に前向きに取り組む意欲」が高くなる傾向にあります。

5 必勝しよう
地域のなかで 星かなる 郷土で育つ人財力
※2 子どもの頃 学ぶ意欲が高かったり、夢中になって外で遊んだりした家族との愛情や絆を感じていた近所の人にほめられたり、教えてもらったりしたこのような経験をした人は、「コミュニケーション能力」や「自己肯定感」「へこたれない力」が高くなる傾向にあります。

※1.2 国立青少年教育振興機構調査報告 (2018)より

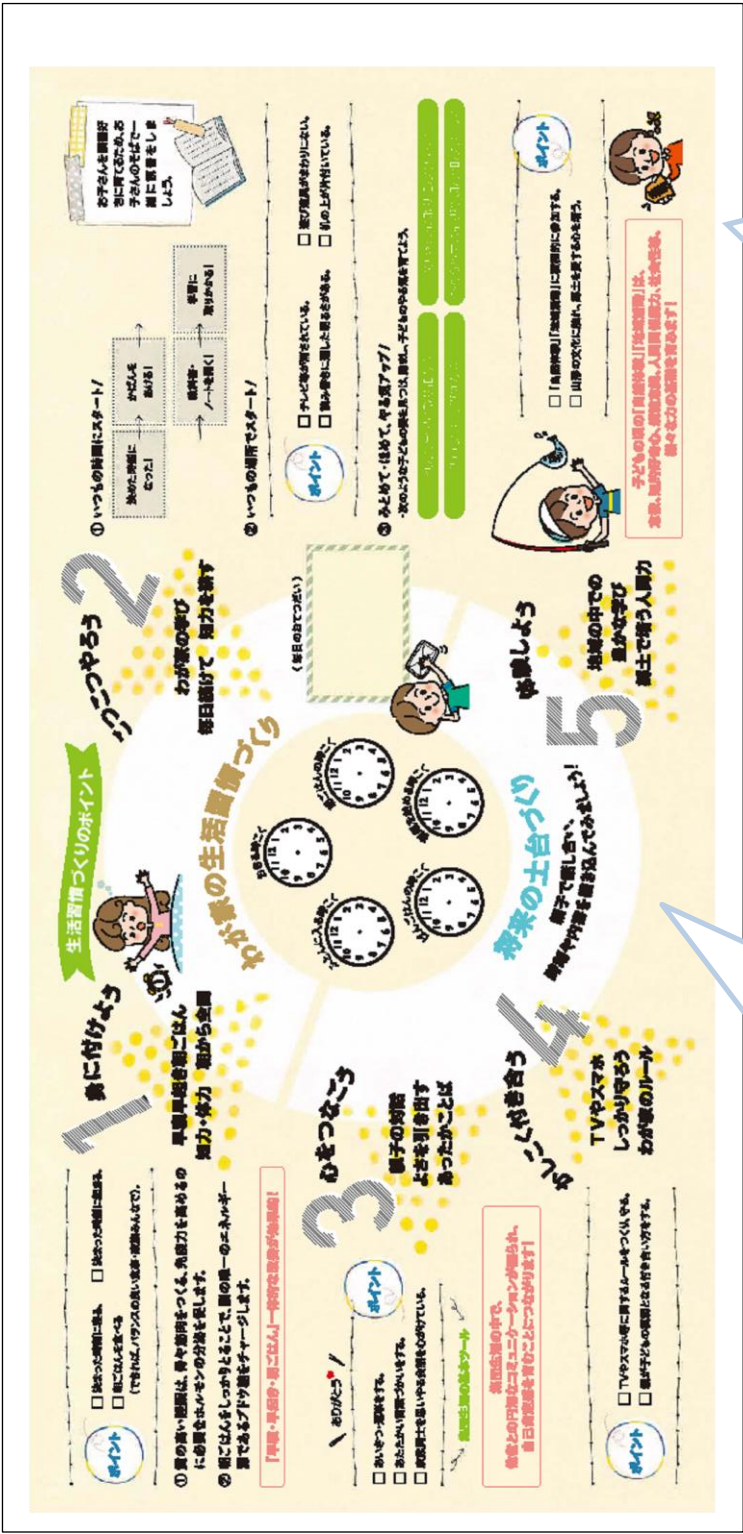
親子のやり取りについて

5か条それぞれに、親子のかかわりの姿を示しています。保護者がどのようにかかわればよいイメージできるようにしています。子どもの意志を大切にする時と、がまんさせる時の見極めが大切です。

※1、※2「子どもの頃・・・」について

「子供の頃の体験がはぐくむ力とその成果に関する調査研究報告書」(H30 国立青少年教育振興機構)をもとにしています。

※1※2の経験をした子ほど高くなる傾向にありますが、子どもの頃の経験だけがその要因とは言えません。



5 か条において達成したいことを「ポイント」として示しています。指導者の意向でさらに補充、追加してもいいでしょう。

「時刻」と「手伝い内容」について書き込めるようになっていきます。親子で話し合い、決定し、実行することを大切に取上げていきます。家庭にそのまま掲示することもあります。

わが家の学びの充実に向けて

～子どもの探究心を生み出すかわり～

変化の激しい社会の中でたくましく生き抜くために「生きて働く知識や技能」、「未知の状況にも対応する能力」、「学んだことを人生や社会に生かそうとする態度」などが求められており、各学校では探究的な学びを育んでいます。全国的な調査によると、家庭学習時間での出来事が話題になる家庭では、子どもの学習意欲が伸びます。子どもの探究心と家庭学習をつなぐことを大切にしていきたいと思います。

保護者への期待①

家庭学習を習慣化し、充実させていくため、保護者に期待するかわり方や振る舞い方を示しました。

学びを「おもしろい!」「楽しい!」と言える子どもへ

「やるべきこと」と「やりたいこと」の両立を!

- 時間を効果的に使って学習する習慣につながります。
 - 大人が新聞や本を読むなどの学ぶ姿を示すことが、子どもの主体的な学びにつながります。
- ※家族と一緒に空間で学習する家庭では、子どもに家庭学習の習慣が身に付きやすい傾向にあります。

子どもが体験や学びを大切だと思えるようなかわりを!

- 身の回りの様々な不思議や感動に対して「なぜ?」と問うことが、深い学びにつながります。
 - 体験や学びを通じた子どもの成長を具体的に認めることが、自信や意欲につながります。
- 【例】「できるようになるまで、よくがんばったね。」
- 日常の体験が、生きた学びにつながります。
- 【例】お買い物の時、だいたいいくらになるのか代金を考える。
料理のお手伝いの時、水のかさや、ものの重さを実感したり、仕事の段取りについて考えたりする。



保護者への期待②

日常生活や体験の中にも学ぶ要素があり、子どもの意欲を向上させる機会が多くあることを伝えています。保護者の方にも、日常生活において子どもの能力を伸ばす機会を多くとらえてほしいものです。

学習資料の内容について【8ページ目】

保護者の体験

悩みながら子どもとかかわっている話を掲載しました。保護者のかかわり方の一例として参考にしてください。指導者によって、講座内容によっては別事例で補強すること考えられます。

先輩パパ・ママの体験談



子どもとの話が「～しなさい」「まだなの」と指示するような言葉が多くなってしまいます。特に平日は子どもとゆったりとした時間を作ることができません。

寝る前に子どもが読みたい本を読み聞かせしています。それだけで親子でゆったりした気持ちになり、安心した時間を過ごして寝ることができます。



子どもの話を最後まで聞こうと思うのですが、つい子どもの話を先読みして、私が先にしゃべってしまいます。

子どもの気持ちや考えを受け止めるために、話の途中で、いろいろなことに気づいても最後まで話を聞くようにしています。



大人になってきたのか、息子が私の問いかけに対して、返事を返してきません。

子どもが話しかけてきたら、しっかりと聞くことで、いつも見守っているという姿勢を示すようにしています。

家庭教育電話相談 「ふれあいほっとライン」

子育ての不安や悩みなどについて、相談員と一緒に考えます。
子どもさんからの相談にも応じます。
お電話お待ちしております。



TEL 023-630-2876

〈月・金〉 9:00～16:15

不登校についての不安や悩みについて 話をしてみませんか

- ◎学校へ行きたいけれど、行くのがつらい
- ◎学習が遅れていかないか心配になってきた
- ◎日中に、お家以外の場所ですごしたい
- ◎同じ悩みをもつお家の人どうして話したい



<教育支援センター>



<民間支援団体>

※二次元バーコードを読み取ると、教育支援センターや、民間支援団体の情報を見ることができます。
※民間支援団体は、掲載している以外の団体もあります。
※不登校児童生徒に対する効果的な支援を推進するため2017年より「教育機会確保法」が施行されています。

〈この学習資料に関する問い合わせ先〉 山形県教育局生涯教育・学習振興課

TEL 023-630-3344 FAX 023-630-2874 電子メール yshogaku@pref.yamagata.jp

「ひとりで悩まないで」

「自分が立派に育てなければならない」という思いが強い方は、不安や悩みを抱えやすいようです。時には、別の意見に耳を傾けることも推奨してください。

第2章

令和7年度

県教育委員会や市町村教育委員会*実施の
家庭教育に関する講座・研修会

※市町村によっては、家庭教育支援を教育委員会ではなく、首長部局が実施している場合があります。
以下、「市町村教育委員会」の表記には「市町村」も含むものとします。

令和7年度 家庭教育支援関連事業 実践事例集

市町村教育委員会では、保護者に対する学習の機会や、親子のふれあいの機会を提供しています。これらの機会を通して「子どもの生活習慣に関する指針」や「やまがた子育て5か条」に触れながら、よりよい生活習慣づくりについて考えることもできます。

また、県教育委員会では、家庭教育の充実に向け家庭教育に携わる方向けの研修会や、読書に関する講座・研修会を実施しています。

<市町村教育委員会の取組み>

◆やまがた子育て講座

保護者に対しての学びの機会を提供するために、主に小・中学校を会場に、家庭教育・子育てに関する講座を実施しています。

◆幼児共育ふれあい広場

主に、幼稚園や保育所を会場に、「人やモノ、自然とのかかわり」と地域とのかかわりを大切にした親子の体験的な活動等を実施しています。

<県教育委員会の取組み>

◆家庭教育支援フォーラム

家庭教育支援の充実に目指し、実践事例の紹介や講演、情報交換会等を通して学びを深めていきます。主に幼稚園・保育園や小・中・高の先生方、子育て支援に携わる方を対象にした研修会です。

◆多様な子どもの読書活動推進研修会（令和6年度～）

家庭・地域・学校等が連携した読書活動の推進するために、

1. 子どもの発達段階や生活環境に応じた読書活動への理解を深めること
2. 多様な子どもの読書活動を支援する人材の育成すること

を目的とした研修会を実施しています。公立図書館（室）職員、読み聞かせサークル、教員、学校司書等を対象とした大人向けの研修会です。

◆多様な子どもの読書活動推進講座（令和6年度～）

親子が一緒に地域資源を活用した多様な読書活動を体験する機会を通して、子どもが読書の楽しさを感じ、自ら本に親しむきっかけをつくることを目的とした講座を実施しています。主に小学生までの子どもとその保護者を対象にした親子向けの講座です。

令和7年度の実践事例を次ページ以降で紹介しています。講座や研修会を企画する際の参考にしてください。なお、令和4～6年度の実践事例は、下記二次元コードから参照ください。



←山形県ホームページへリンク



令和7年度山形県家庭教育アドバイザー一覧

地 区		氏 名	職 名	専 門 領 域
村 山	1	えんどう まさあき 遠藤 正明	元山形県PTA連合会長	家庭教育全般
	2	はたなか まきのり 畑中 昌則	山形県マジック協会長	しつけ 孫育て
	3	わたなべ ゆうこ 渡邊 裕子	紙ふうせんの会代表、元保育園長	読み聞かせ わらべうた 幼児共育
	4	いとう ようこ 伊藤 洋子	臨床心理士、県スクールカウンセラー	臨床心理
	5	にへい あけみ 二瓶 明美	認定音楽療法士、にこにこ音楽子育て支援の会 会長	家庭教育全般 特別支援教育 親子ふれあい活動
	6	やぐち ゆり 矢口 友理	山形大学地域教育文化学部准教授	食育 スポーツ栄養学
	7	むらやま けいこ 村山 恵子	NPO法人「クリエイトひがしね」事務局長、心の教育相談員	育児支援 幼児共育 遊育
	8	さきはら えいこ 笹原 英子	元小学校教諭、公認心理士、県スクールカウンセラー	子育て相談 家庭教育全般
	9	おおぬま ちえ 大沼 千絵	元小学校教諭、県スクールカウンセラー	教育相談 家庭教育全般
	10	すずき りえこ 鈴木理枝子	学校心理士、ガイダンスカウンセラー、元幼稚園長、元小学校長	家庭教育全般 教育相談
	11	つちや つねよし 土屋 常義	元山形県朝日少年自然の家所長、元小学校長、村山市はやま認定こども園長	家庭教育全般 地域教育全般 自然体験学習
	12	きくち きみこ 菊地喜美子	フリーアナウンサー、こどもアナウンス発声協会講師	コミュニケーション 言葉の表現
	13	すとう よしこ 須藤 好子	元養護教諭、一般社団法人日本アンガーマネジメント協会認定 アンガーマネジメン トコンサルタント、アンガーマネジメントチーフファシリテーター、アンガーマネジメン ト叱り方トレーナー、アンガーマネジメントハラスメント防止アドバイザー	アンガーマネジメント
最 上	1	あ べ あきら 阿部 彰	パリス保育園長	子どもの教育全般
	2	さとう なるみ 佐藤 成美	家庭教育応援・ボランティア活動団体「アベルんち」代表	不登校 障がい児に対する支援 読み聞かせ
	3	いとう じゅんこ 伊藤 淳子	特定非営利活動法人 さけがわ友遊クラブ クラブマネジャー	健康づくり・レクリエーション
	4	ぬまざわ なおと 沼澤 直人	最上広域交流センターゆめりあ館長、元小学校長	学校教育 社会教育 体験活動
置 賜	1	くろだ み か 黒田 三佳	人材育成アカデミーローズレーン 代表、里山ソムリエ®	家庭教育全般
	2	たかはし 高橋まゆみ	エッセイスト、元南陽市教育委員会教育委員長	家庭教育全般
	3	お の たくや 小野 卓也	三峯山洞松寺住職、人権擁護委員、保護司	家庭教育全般
	4	たかせ なおみ 高瀬 尚美	長井市家庭的保育ルーム ひよっこ 主任保育士、川西お話し会「きらきら」元会員	読み聞かせ 子育て支援(幼児教育)
	5	こまつ ひろみ 小松ひろみ	元養護教諭、長井市教育相談員	生活リズム 心の健康
庄 内	1	さいとう まさし 齋藤 雅志	山形県体操協会会長、前山形県国公立幼稚園会長	家庭教育全般 幼児・小学生
	2	ごとう けいこ 後藤 敬子	ごつと助産院院長	命の誕生 思春期 性教育 生き方教育
	3	かねこ たけし 金子 健	個別支援教室ここ代表	特別支援教育(発達障がい) 子育て支援
	4	たんじ あかお 丹治 亜香音	特定非営利活動法人 明日のたね 代表理事、山形県教育委員	子育て支援 自然体験活動
	5	うたがわ ゆたか 歌川 裕	SR会副代表、東北公益文科大学 非常勤講師	家庭教育全般(小学生・中学生・子育て)

◆やまがた子育て講座◆

- 事例1** 自分で考え行動できる力を育てる ～声がけやかかわり方で子どもは変わる～
 会 場：寒河江市立白岩小学校
 講 師：笹原 英子 氏（県家庭教育アドバイザー・公認心理師）

<研修目的>

就学前後の子どもにつけたい力と、子どもを伸ばす言葉かけと関わり方のコツを知る

<研修内容>

- 1 入学までに身につけたいこと
 ・「1年生になるまでに～になってほしい」を考える
- 2 非認知能力について
 ・学力テストで測られない「生きる力」とは？
- 3 子どもを伸ばすかかわり方
 ・非認知能力を育てる家庭教育のポイント
- 4 言葉かけの練習
 ・「尊重する」「認める」「信じる」「任せる」が大切



等

等



- ★家庭でも一緒に練習しできるようになったことを共に喜ぶ。→安心・楽しみにつながる
- ★子どもには“失敗する権利”がある。失敗から学ぶことはたくさんある。
- ★おせっかいをやめる。→ 子どもが自分で判断できると信じていると伝える大切さ

【参加者の声】

- ・小学校に入るまでに何をすればいいのか、子どもとどう接すればいいか知ることができて良かった。
- ・子どもの気持ちを引き出す大切さを学んだ。子どもに対する声がけをもっと頑張りたい。

- 事例2** 親子で考えよう！SOSの出し方・受け止め方
 ～ここに負担を感じた時にするといいこと～

会 場：舟形町立舟形中学校
 講 師：安保 寛明 氏（山形県立保健医療大学）

<全体講演会（研修会）>

- 1 こころの状態を紙風船に例えていただき、その状態をイメージできた。
- 2 ヘこんだ紙風船は自然には膨らまないように、脳や心が疲れているときは、誰かの助けが必要だと学んだ。
- 3 講演後は学年ごとにグループに分かれ、脳と心が疲れている時の対処法を親子で話し合った。



<参加者の感想>

- ・子どものSOSに気づける親になりたい。
- ・ポジティブな言葉への変換の難しさと大切さが分かった。
- ・脳と心が疲れた時の対処法が学べて良かった。



事例3 『ひとつ、ひとつ。』向き合いませんか。 ―今、子供のためにできること―
会 場：米沢市立窪田小学校
講 師：高橋 まゆみ 氏（県家庭教育アドバイザー）

<講演会>

- 1 自己紹介
- 2 活舌をよく話すために
- 3 子どもは大人の理不尽に耐えている（約束）
- 4 不得意なこと
- 5 ママの目はうしろについているのか
- 6 スマホは使い方次第
- 7 こんな話でひといきしましょう
- 8 読書について
- 9 食について
- 10 まとめ



<参加者の感想>

- ・ 内容が分かりやすく、自分を振り返る機会になりました。
- ・ 子どもとの向き合い方など、日々の生活の中で蔑ろ^{ないがし}になりがちだったため、改めて考えさせられた時間でした。
- ・ 先生の人柄が素敵でした。子育ての参考になることを教えていただきました。
- ・ 自身の体験、子育ての経験をもとに話をしてくださりとてもためになりました。

事例4 やる気スイッチの入れ方 ～自己肯定感を高める魔法のことば～
会 場：酒田市立浜中小学校
講 師：岩本 諒子 氏（酒田市教育相談室 相談専門員）

<講演会>

- ・ 新入学児童が小学校生活にスムーズに対応できるようになるために大切なこと
- ・ 親として子どもへの関わり方
- ・ 質疑応答

<参加者の感想>

- ・ 「ありがとう」など言葉の力に改めて気付きました。
- ・ なかなか親には言えないこと、心の言葉など目には見えない部分が大人と同じように子どもにもあることを発見できました。今からすぐ実践していきたいです。
- ・ 子どもに対する声がけについての悩みが少し解消できそうです。
- ・ 読み聞かせをあまりしたことがないけれど、親も子どもお互いに win-win であることが分かり新たな発見になりました。



事例5 小学校就学前後の子どもとのかかわり方

～自立的な子どもを育てる親のかかわりを考えよう！～

会 場：寒河江市立高松小学校

講 師：村山 恵子 氏（県家庭教育アドバイザー）



<研修目的>

就学前後の子どもにつけたい力とその力を引き出す子どもへのかかわり方を学ぶ

<研修内容>

- 1 自ら考え行動できるために…日常生活を振り返る
 - ・親主導を卒業し、失敗さえも「自分で決めた」成功体験として積み重ねる。
- 2 子どもの「くう・ねる・あそぶ・愛される」を保障する
 - ・遊びは学びの準備ではなく「生きることそのもの」
 - ・愛された実感が他者への共感を育む
- 3 子どもの「やってみたい！（主体性・自主性）」を引き出すかかわり方
 - ・家庭を評価の場ではなく、ありのままの自分を充電できる「安全基地」にする
 - ・子どもの負の感情も否定せず、試行錯誤を見守り、自己決定の機会を奪わない



★共に育つ環境づくり

親も 60 点でいい。大人が楽しそうに生き、地域との「ナナメの関係」で共に育つ。大人の都合で制限せず、子どもの「やってみたい」という好奇心を尊重する。

【参加者の声】

- ・怒りすぎた時は「言いすぎた」と伝え、大切に思っていると改めて伝えると良いと気づきがあった。
- ・親も一緒に成長していくので、60 点でいいんだとわかった。力を抜いて子育てをしていきたい。

事例6 自立した学び手と社会力の育成 ～子どもの思考を体験しよう～

会 場：新庄市立明倫学園

講 師：沼澤 直人 氏

（最上広域交流センターゆめりあ館長・県家庭教育アドバイザー）

<全体講演会>

- 1 ボールを用いたゲームを行いながら、子どもの視点・考え方などを体験した。
- 2 子どもは成功や失敗といった様々な経験を経て、自立した学び手となり、自ら考えて自己決定を行うことが大切で、子どもの自己決定の機会の確保や、社会力の育成のために親としてできることなどをお話いただいた。



<参加者の感想>

- ・親は自身の経験に基づき、近道を教えて正解に導いてしまうことが多いと反省します。先回りせず、例え失敗したとしても、子どもの経験の機会を作っていきたい。
- ・子どもの自己決定の機会を作り、その決定を尊重する事が大切だと感じました。
- ・学校での勉強も大切ですが、家庭での社会力の育成の大切さも再認識しました。

事例7 家庭における子育てについて ～子どもの育ちを支援して～

会 場：長井市立西根小学校

講 師：小松 ひろみ 氏（県家庭教育アドバイザー）



<講演会>

- 1 「大切にしたい視点」と「子育て」経験から
 - ・非認知能力 「優しさ」と「厳しさ」のさじ加減
 - ・手を当てて話をよく聞くことの重要性 小学校低学年の特徴
- 2 メディアが脳に与える影響
 - ・「生活リズム」「睡眠」「食事」と脳の働きの関係について、模型や図などを使って説明
- 3 心の健康について
 - ・不安や悩みが、自律神経の不調と連動すること
 - ・学校や家庭でよくある場面を「ロールプレイ」で再現し対応を学習
- 4 子どもの脳を傷つける親たち
 - ・不適切な関わりや子どもの前での激しい夫婦喧嘩などが脳に与える影響について説明
- 5 親子の関わりで大切にしたいこと

<参加者の感想>

- ・実際にあることを例に挙げていて「あるある！」と思いながら聞かせていただきました。とても分かりやすく勉強になりました。
- ・子どもは朝起きてすぐの時間帯は、色々なことを言っても頭に入っていないことが分かりました。特に1年生はまわりも見えてなくて交通事故等に遭いやすいことも分かったので、声かけを気をつけていきたいと思います。

事例8 親子で楽しく体軸体操

会 場：鶴岡市立東栄小学校

講 師：鈴木 貴晃 氏（TAIJIKU 子どもの運動学習塾鶴岡校代表）

<講演及び体験>

- ・運動能力チェック
- ・体軸体操
- ・親子で身体を使って遊ぼう！

<参加者の感想>

- ・日常生活の中で体軸を鍛えることで子どもの運動能力を伸ばすことができることが分かりました。
- ・親子で運動をする機会があまりないので、大切だと思いました。
- ・一緒に体を動かすなど、子どもとのコミュニケーションが大切であることを改めて感じました。
- ・上手にできなくても一緒に挑戦する楽しさを再確認することができました。



◆幼児共育ふれあい広場◆

事例1 親子スキンシップ体操

会 場：かほく あい こども園（河北町）

講 師：三井寺 優 氏（体創Lab.）



<親子体験>

- 1 ウォーミングアップ
 - ・子どもと共にウォーキング（色々な歩き方）
- 2 準備体操
 - ・屈伸・伸脚（浅く・深く）・体育座り～伸脚・開脚～押し合い
- 3 新聞紙を用いた遊び
 - ①丸める→子どもは両手、親は片手（母は利き手、父は反対）
 - ②広げる→手のアイロン（親子の力を合わせて）
 - ③広げたものと丸めたものをキャッチ（動体視力の強化）
 - ④キャッチ勝負 → 背中合わせで床に置いた新聞紙を取る



★家庭の中で触れ合いながら親子一緒に楽しむことが大切。

★「愛している」を100回言うより1回抱きしめた方が子どもに愛情が伝わる。

体を動かす楽しさを伝えることを通して、親子の触れ合いが深まることを願っています。

【参加者の声】

- ・親世代はできても、子どもたちには難しい動きがあることを知ることができてよかった。一緒に運動することでいつもはできない触れ合いができた。
- ・普段の生活で気づかない子どもの体の成長や不足していることがあると感じた。遊びの中から今後も成長を促していけるようにかかわっていきたい。

事例2 『親子でりかどく』 ～空気であそぼう～

会 場：新庄市立泉田保育所

講 師：チーム理科読（佐藤寛稔氏・奥山京子氏・小林純子氏・渡辺安志氏）

<全体講演会（読み聞かせ・体験活動）>

- 1 「空気」や「風」に関する内容の絵本の読み聞かせを行いました。
- 2 絵本読み聞かせの後、「空気」「風」の原理を使った実験や、おもちゃ作りを行いました。
- 3 分からないことなどを講師に聞きながら、子どもに限らず、大人も賑やかに楽しみました。



<参加者の感想>

- ・身近な“空気”でこんなに楽しめるなんて!!
- ・子どもが不思議に思うことを分かりやすく教えてもらえました。
- ・子どもと一緒に色々なことを共感する事が大切だと思った。
- ・おもちゃやゲーム、外部の施設などではなくとも、身近なものでこんなに楽しめるのだなぁと感じました。

事例3 親子で運動あそびを楽しもう！パートⅡ
会 場：致芳児童センター（長井市）
講 師：菅原 陽子 氏（運動のアトリエ）

＜親子ふれあい体験講座＞

- 1 開会
- 2 講師紹介
- 3 親子で音楽に合わせて「身体を動かそう！
触れあおう！楽しもう！」
- 4 みんなで繋がって遊ぼう！
「トンネルくぐり・連続馬飛びなど」
- 5 お礼の言葉
- 6 閉会



＜参加者の感想＞

- ・触れ合いも多く、子どもも親もゆっくり満たされた時間でした。
- ・直接触れ合うことができるのは、今しかない貴重な期間だと思うので、たくさんベタベタしながら大笑いしたり、汗をかいたりできたこと、楽しかったです。
- ・子どもと一緒に何かに取り組むことは、大切だと改めて気づきました。

事例4 トランポリン教室とミニ講座
会 場：庄内町体操競技練習場
講 師：齋藤 雅志 氏（県家庭教育アドバイザー）

＜親子体験＞

- ・トランポリン教室
- ・やまがた子育て5か条を基本とした講話
- ・絵本の読み聞かせ

＜参加者の感想＞

- ・あまりこのような機会がないので参加できてよかったです。大きなトランポリンで楽しそうでした。いつも気にかけてはいますが、改めて親子のふれあいを大事にしたいと思いました。
- ・ウェルビーイングという言葉は初めて聞きました。お互い気持ちよく過ごし、成長していけるように、伝え方の工夫が大事だなと思いました。
- ・家庭での声かけの仕方に気を付けようと思いました。ゲームはいずれ必ず問題になると思うので、ルールを決めて上手に付き合っていこうと思いました。



事例5 ゆめはーとクリスマスコンサート

会 場：ハートフルセンター 多目的ホール（寒河江市）

講 師：二瓶 明美 氏（県家庭教育アドバイザー）



<親子体験>

- | | | |
|--------------------------------------|-----------------|------------|
| 1 はじまりの音楽 | ♪わたしのあかちゃん | |
| 2 季節の歌 | ♪あわてんぼうのサンタクロース | |
| | ♪赤鼻のトナカイ 等 | |
| 3 楽しい歌 | ♪やきいもグーチーパー | ♪大きな栗の木の下で |
| 4 素敵な楽器の演奏（山形交響楽団フルート・クラリネット奏者による演奏） | ♪「くるみ割り人形」より | ♪ジングルベル 等 |
| 5 みんなで楽器を鳴らそう | ♪おもちゃのチャチャチャ | |
| | ♪小さな世界 等 | |
| 6 みんなで踊りましょう | ♪トントnpolsカ | |
| 7 おわりの歌 | ♪さようならワルツ | |

- ★一番は、子どもたちに生の歌声を聴かせること。
- ★母親の歌声がいちばん子どもに響く。



【参加者の声】

- ・歌も演奏もとても素敵だった。本物の楽器にも興味津々だった。
- ・二瓶先生の声がきれいで語りも良かった。いろいろな楽器が登場し、親子で楽しめた。
- ・膝に乗せてのリズム遊びも6か月の子どもも楽しんでた。
- ・生演奏を聴く機会がないので親子で聞けて良かった。自由なところで音楽を楽しめた。

事例6 手作りおもちゃでパフォーマンス

会 場：真室川町立釜淵保育所

講 師：芳賀 哲 氏（仙台手作りおもちゃ研究所 主宰）



<内容>

- ・手遊び、ペープサート
- ・親子でふれあい遊び
- ・家にあるもので作った手作りおもちゃで遊ぼう

<参加者の感想>

- ・子どもも大人も一緒に楽しめて良かったです。
- ・工作も教えていただいて、家でも簡単に作れそうです。
- ・とてもおもしろかった。笑った。



事例7 クリスマスコンサート
会 場：なごみこども園（高畠町）
講 師：伊藤 真理 氏（はみんぐ♪代表）

<親子ふれあい体験講座>

- 1 歌
- 2 音楽絵本
- 3 手遊び

<気をつけたこと>

- ・ より多くの方にコンサートにお越しいただくために、伊藤さんからいただいたプログラムを、園アプリでの配信や玄関に掲示したことで、多くの方にお越しいただきました。
- ・ お越しいただいた方が、ゆっくりコンサートを楽しめるように、お子さんを預かりました。

<参加者の感想>

- ・ 先生や、講師の方の呼びかけにすぐ反応し元気に参加している姿に成長を感じました。
- ・ 子どもたちも、歌ったり踊ったりしていて楽しそうで良かったです。
- ・ 日頃の育児の疲れが癒されました。
- ・ 子どもがとても楽しそうに、笑顔で参加している姿を見ることができて良かったです。



事例8 親子で楽しくボールあそび
会 場：遊佐町立吹浦保育園
講 師：大瀧 雅士 氏（勘太郎文庫、童具共育アドバイザー）

<親子体験>

- ・ 絵本の読み聞かせ（ボール遊びにつながる絵本）
- ・ ボール遊び（様々な童具を使ったボール遊び）

<参加者の感想>

- ・ 布（シーツ）とボールの遊びは家でも手軽にできそうなのでぜひやってみようと思いました
- ・ 普段できない遊びをしていたのでどのようなことに興味があるのか、改めて知る機会になりました。
- ・ 1つの遊びを遊びきる楽しさやそれを広げていく楽しさに気づくことができ良かったです。



◆家庭教育支援フォーラム◆

村山地区①

1 テーマ “家庭教育支援”とは？ ～子どものために私たち大人ができること～

2 期日・会場 令和7年5月23日（金） 村山総合支庁西村山地域振興局西棟 講堂

3 参加対象 県家庭教育アドバイザー、小中学校教職員、
市町教育委員会家庭教育・幼児共育支援担当者、図書館担当者、
図書館職員、読み聞かせサークル及び読み聞かせボランティア、
市町児童福祉部局担当者、子育て支援センター職員、
幼稚園・認定こども園・保育所職員、一般参加 等 (41名)

4 内 容 講師 県家庭教育アドバイザー 土屋 常義 氏
村山 恵子 氏
渡邊 裕子 氏



(1) 講師3名によるパネルディスカッション



- ・ 今の子育て事情と大切にしたいこと
→ “地域の大人の存在” の大切さ
- ・ 研修のキーワード
「共育」×「遊育」×「読育」からの家庭教育支援
- ◎ 「共に楽しむ・育つ」という思いを持つ
- ◎ 「遊ぶ」は子どもの「いのちのしくみ」
- ◎ 読み聞かせの“シチュエーション”と“アタッチメント”

(2) 意見交換「それぞれの立場で考える家庭教育
～子どもたちのために私たち大人ができること～」



- ・ 保護者の考え方の変化について
- ・ 頼りにするのはメディア等の情報
- ・ 子どもが自由に遊べる場の減少
- ・ 保護者支援の必要性
- ・ ななめの関係の大切さ …etc

5 参加者のアンケート

- ・ 自分の子だけでなく地域の子もたちと関わっていくことが大切だなと強く思った。違う地域の違う立場も方々と互いに意見を出し合う今回のような場は、とてもありがたい。
- ・ 遊びの姿が変わっていていることや、今私たちができることは何かということを改めて考えさせられた。グループトークを通して様々な話ができてよかった。
- ・ 様々な世代で子育てについて意見交換ができてためになった。こういう場は、子育て中の方ほどためになると思うので、各所で機会をつくれたらいいと思う。
- ・ 職場等で共有して、子どもたちの学びの助けとなるよう頑張っていきたい。
- ・ 小学生というより、中学生に向けてどうしていくかというスタンスがなかなか難しく、悩むことが多い。思春期の子どもに何かできるのかといった講座があると大変うれしい。
- ・ 共に楽しむことと、共に成長すること、絵本やわらべうたなどを通してさらに子どもが成長できるように今後も関わりたい。
- ・ パネルディスカッションを聞いて、子育て中の親の立場としてはハッとさせられた。子どもの成長を妨げるような対応は、改善していこうと思った。各家庭に、共育、遊育、読育の内容が広まればいいと思った。

村山地区②

- 1 テーマ 食も心も“おすそわけ” ～持ちつ持たれつで紡ぐ子育て世代の輪～
- 2 期日・会場 令和7年10月10日（金） 村山保健所 大会議室
- 3 参加対象 山形県家庭教育アドバイザー、小中学校教職員、市町教育委員会家庭教育・幼児共育支援担当者、図書館担当者、図書館職員、読み聞かせサークル及び読み聞かせボランティア、市町児童福祉部局担当者、子育て支援センター職員、幼稚園・認定こども園・保育所職員、一般参加 等（27名）
- 4 内 容 講師 かみのやまこども食堂 かえる家
代表 萩生田 充知子 氏
副代表 萩生田 祐司 氏



（１）事例提供 「こども食堂『かえる家』の実践で見えてきたもの」



- ・ こども食堂「かえる家」を始めたきっかけ
- ・ こども食堂「かえる家」の活動について
- ・ 子どもの支援から親の支援へ
→フードパントリーやフリースクールのスタート
- ・ 行政・民間との連携
- ・ 実践から見える子どもの姿や親の思い
- ・ 活動に込める思いや願い

（２）おしゃべりサロン ～持ちつ持たれつでつながる輪～ 日々思うこと、悩み、自分たちができること等思いを共有



5 参加者のアンケート

- ・ 何回聞いても涙が出てくるエピソードを赤裸々にお話しくださりとてもありがたい。初めての子育てで悩みながらやってきて、正解もわからないが、ふとした時に思い出して活かされたいと思った。
- ・ 子どもを大切にすることを甘やかすことと判断をすべて尊重することは、イコールではないことを改めて感じた。いろいろな子育て、教育がある中で、今回の話は、子どもを育てる多くの人に勇気を与えてくれるものだった。初めて参加したが、このような講座に多くの方が参加することで、多くの方がたくさんの元気をもらえと思った。
- ・ 地域の中に様々な事情を抱える家庭があることは知っていたが、今回の事例で生の現場の声を聞いたことはとても貴重だった。支える側のスタンスも勉強になった。自分にも何かできることがあるのではないかと考えさせられた。
- ・ 行政機関として、現状できることが制限されている（人員、予算等の問題）中で、できることを考えながら仕事したいと思った。



最上地区①

- 1 期日・会場 令和7年6月28日(土) 新庄市エコロジーガーデン
- 2 参加対象 保育園・こども園関係者、小中義務教育学校教員、家庭教育支援者、市町村教育委員会・福祉部局家庭教育支援担当者、地区PTA協議会母親委員及び保護者等 (参加者44人)

3 内 容

(1) 講演

演題

「家族の未来の健康を守るために」

①家族の健康を守る生活習慣づくり

講師：山田 敬子 氏 (最上保健所長)

②今日からできる減塩・ベジアップ

講師：高橋 さゆり 氏

(最上保健所地域健康福祉課 健康増進主査)

《講演内容》

- 医療と介護の現状について
- 生活習慣と病気
- 家族みんなで健康生活
 - ・減塩
 - ・ベジアップ
 - ・食事バランス



(2) 感想交流・情報交換



4 参加者のアンケートから(記述抜粋)

- ・体と心の健康に、栄養が結びついていることがわかりました。
- ・親の健康が子どもの健康につながることを実感しました。
- ・子どもを気遣う前に、自分が不健康だったので、まずは自己意識の改革が必要だと感じました。
- ・生活習慣を振り返ることができました。今日から、減塩し、野菜を取らせる工夫をがんばっていきたいです。
- ・子どものためにも、自分自身の健康に気を配り、元気でいなければと思いました。家族が幸せに過ごすために、毎日の料理や塩分に気をつけようと思います。

最上地区②

- 1 期日・会場 令和7年11月6日(木) 最上総合支庁
- 2 参加対象 保育園・こども園関係者、小中義務教育学校教員、家庭教育支援者、市町村教育委員会・福祉部局家庭教育支援担当者、読み聞かせサークル会員、放課後児童クラブ関係者 等 (参加者 14人)

3 内 容

(1) 講演と体験

演題 「作ってみよう！減塩メニュー」

講師 高橋さゆり 氏 (最上総合支庁地域健康福祉課 管理栄養士)

関 優花 氏 (最上総合支庁地域健康福祉課 管理栄養士)

柿崎 明美 氏 (栄養ケアもがみ D-nya (だーにゃ))

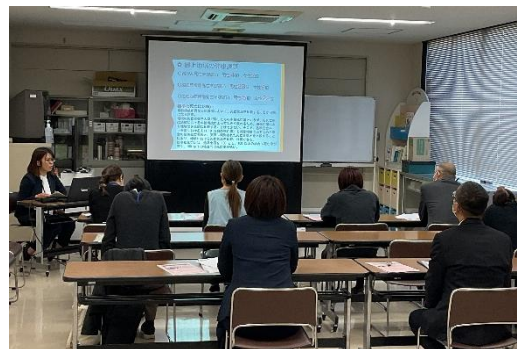
溝越 莉子 氏 (栄養ケアもがみ D-nya (だーにゃ))

《講演》

- 最上地域の健康課題
- 減塩で健康生活
- ベジアップで健康生活

《調理実習》

- キーマカレー
- ポテトサラダ



(2) 感想交流・情報交換



4 参加者のアンケートから(記述抜粋)

- ・減塩でも美味しくいただけることが分かった。
- ・塩分の取り方について習慣性があることを改めて感じました。
- ・講座を聞く事で普段の食生活を見直す事が出来ました。
- ・減塩メニューに対してそんなに積極的に考えていなかったのですが、今回のメニューはぜひ家族にも作って食べさせてあげたいと思います。マヨネーズを使わないポテトサラダとても美味しかったです

置賜地区①

- 1 期日・会場 令和7年6月26日（木） 置賜総合支庁西置賜地域振興局 講堂
- 2 参加対象 県家庭教育アドバイザー、各市町家庭教育支援担当者、幼稚園・保育園・こども園等関係者、子育て支援センター関係者（23名）
- 3 内 容
講演 「思いや考えを自分の言葉で伝える楽しさを
～『まる語』を使って、まあるい人間関係づくり～」
講師 菊地 喜美子 氏（フリーアナウンサー、県家庭教育アドバイザー）

- 1 はじめに
①受講するにあたって
②自己紹介
- 2 『まる語』について
①『まる語』とは？
②まる語メソッドについて
③山形まる語学校とそのレッスン内容について
- 3 『まる語』を使ってみよう
①発音の基本をマスターしよう
②好きな言葉・嫌いな言葉を知ろう
③紙に書いてみよう
④言葉を見てみよう
- 4 振り返り
今日の私の『まる語』



4 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・言葉で伝える楽しさを今まで考えたことのない視点から教えてもらいたくさん学ぶことができました。
- ・コミュニケーションにはズレがあるが、そのズレを楽しめるように言葉を発したり、伝えたりすることの楽しさを感じました。
- ・子どもだけでなく、大人でも言葉や間の使い方が大切だと分かりました。
- ・ことば・発声を意識するような時間は幼児期の頃に必要なものだと思えて感じました。
- ・言葉の大切さを改めて実感しました。毎日何気なく使っている言葉ですが、相手を傷つけてしまうこともあるということを常に意識して使っていこうと思いました。
- ・心を通わせるコミュニケーションについて、自分らしさを出せる話し方についての発見が多く、学びとなりました。

置賜地区②

- 1 期日・会場 令和7年12月5日（金） 置賜総合支庁西置賜地域振興局 講堂
※オンライン研修会
- 2 参加対象 県家庭教育アドバイザー、各市町家庭教育支援担当者、幼稚園・保育園・こども園等関係者、小学校教員 等 （37名）
- 3 内 容
講演「愛着障害の視点から考える こどもを育てる支援の在り方」
講師 米澤 好史 氏（和歌山大学教授）

- 1 はじめに
 - ①受講するにあたって
 - ②自己紹介
- 2 愛着障害について
 - ①愛着の視点から、こどもの発達・学習・教育を捉え直す
 - ・愛着の基本原則
 - ・愛着障害への偏見・誤解・間違った捉え方
 - ②愛着形成とは？
 - ・愛着形成の3つの基底機能
 - ③よく混同される発達障害との違いを踏まえた愛着障害の理解と支援
 - ・愛着障害、愛着の問題発見ポイント

- 4 参加者のアンケートから（記述抜粋）
 - ・愛着障害のとらえ方が変わりました。親だけができることではなく、子どもとかかわる大人たちで愛着を形成していくことができることを学びました。また、発達障害との違いも学んだので学校教育の中でも子どもの行動をよく観察して、適切な支援にいかしたいと思います。
 - ・愛着障害について、大まかには知っていましたが、詳しく、より専門的な方のお話を聞きできてとても勉強になりました。また、愛着障害と発達障害それぞれについては知っていましたが、その違いや見分け方を教えていただいたのがとても良かったです。ありがとうございました。
 - ・米澤先生の愛着障害の考え方は、4年くらい前に知りました。発達障害と疑われる児童が増加する中で、「愛着障害」という考え方があることは、目からうろこでした。それ以来、子どものアセスメントの幅が広がったことを実感しています。今回は、若手教員と一緒に自分の再確認も含め、新たな視点での子どもの見方を学べたと思います。

庄内地区①

- 1 期日・会場 令和7年7月15日（火） 庄内総合支庁 講堂
- 2 参加対象 保育士、幼稚園・小学校・中学校教諭、養護教諭、行政職員、
県家庭教育アドバイザー等（参加者40名）
- 3 内 容
テーマ：「心のゆとりと子どもとの関わり方
～ポジティブ思考とアサーティブな会話を身に付けよう！～」
講 師： 小野 卓也 氏（県家庭教育アドバイザー）

- 1 心のゆとりとは？
 - 2 子どもとの関わり方
 - 3 家事あるあるをみんなで考えよう



4 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・自分に余裕がなければ、何事も上手くいかない。日頃からストレスをためず、ポジティブに物事を考え、家庭も仕事も楽しく頑張っていきたいと思いました。
- ・アサーティブな会話の仕方について学ぶことができました。また、心にゆとりをもって関わるには、自分の心の状態を把握することも必要と感じました。
- ・ポジティブな思考になるためにどのような声かけをすると良いのか、わかりやすくなるようになりました。アサーションな会話が実践できるようにしていきたいです。
- ・今回の研修を受けて、日ごろいかに自分の大変さや忙しさばかりに気をとられ、相手とのコミュニケーションをおろそかにしていたかを実感しました。最近よく見聞きする「自分の機嫌は自分でとる」という言葉も、「よい人間関係は自分の心の余裕しだい」につながるものだと思います。私も相手に期待しすぎず、完璧を目指そうとせずゆとりある日常生活を過ごすことを頑張ろうと思えた研修会でした。

庄内地区②

1 期日・会場 令和7年11月6日（木） 庄内総合支庁分庁舎 2号会議室

2 参加対象 保育士、幼稚園・小学校・中学校教諭、養護教諭、行政職員、
県家庭教育アドバイザー等（参加者31名）

3 内 容

テーマ：「子どもの心に響く励ましの言葉かけ

～ペップトークを身に付けよう～

講 師：小野 弘志 氏（一般財団法人日本ペップトーク普及協会認定講師）

1 ペップトークとは？

2 ペップトークを体験してみよう



4 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・講師の先生の話がとても面白くて最後まで興味深く聞くことができました。ペップトークという言葉は初めて聞きましたが、とても素敵なものだと思います。こちらが捉え方を見直すことが大切だと思います。
- ・研修会に参加して何より信頼関係が根本にあり、しっかり向き合っこそ相手を勇気づける言葉が出てくるのだと知り、日頃の関わりや相手を受容することの大切さを再認識しました。動作、表情、姿勢を意識しながら日々の関わりを大切にしていきたいです。
- ・参加する前から気になる内容の研修会でした。先生のお話がとても楽しく、わかりやすい事例もあげてお話してくださり、頭にすっと入ってきました。今回教えていただいたペップトークを使いこなすことができるよう、日々研究して、子どもたちに合う言葉かけができるようになっていきたいと思いました。

◆子どもの読書活動推進研修会◆

村山地区①

テーマ「読みたい！は育てられる ～子どもが本に手を伸ばしたくなる読み聞かせの工夫～」

- 1 期日・会場 令和7年6月27日（金） 尾花沢市学習情報センター
- 2 参加対象 公立図書館（室）職員、読み聞かせボランティアサークル及び読み聞かせボランティア関係者、小中学校教職員、市町児童福祉部局担当者、管内市町教育委員会担当者、各市町子育て支援センター・保育施設職員、一般参加 等（参加者 56 名）
- 3 内 容
 - (1) 講話・実演【講師：小林 圭子 氏（お話の会くれよん）】
 - ・子どもの読書に対する内発的動機付けを高めるための工夫について
 - ・「お話の会くれよん」さんによる読み聞かせの実演（伊藤 順子 氏、川上 真由美 氏）
 - (2) 図書館見学
 - ・図書館職員の方による施設紹介及びLINE（ライン）を活用した貸出しシステムの説明
 - ・自由見学及び休憩
 - (3) 情報交換及びグループワーク
 - ・自己紹介及び「私のおすすめの一冊」の紹介
 - ・多様な読書活動のあり方を推進するための取組みや工夫について意見交流
 - ・参加者の日々の実践の共有
- 4 参加者のアンケートから（記述抜粋）
 - ・講師の方の本の紹介が楽しかったです。知っている本でも改めて楽しさを再発見できました。ブラックライトや伴奏を活用した「花さき山」の実演も大変素晴らしかったです。
 - ・絵本が持っている力に改めて気付かされました。ご紹介いただいた絵本はぜひ子どもたちに読んであげたいと思います。
 - ・本を知ることの大切さを改めて気付かせていただきました。本を好きになること、本を知ることにより、本の持つ力を感じたり、有難さを感じられるようになったりするのだと思います。自分を成長させなければいけないと感じました。



“本を知る”大切さを学ぶ



グループワークで実践を共有



図書館職員の方が
市立図書館の取組みを説明



魅力的な図書館を自由見学

村山地区②

テーマ 「絵本作家から学ぶ“伝わる”読み聞かせ ～実践に生かす表現と選書のヒント～」

- 1 期日・会場 令和8年1月20日（火） 上山市立図書館
- 2 参加対象 公立図書館（室）職員、読み聞かせボランティアサークル及び読み聞かせボランティア関係者、小中学校教職員、市町児童福祉部局担当者、管内市町教育委員会担当者、各市町子育て支援センター・保育施設職員、一般参加 等
(参加者 30 名)
- 3 内 容
 - (1) 講話・実演
【講師：きくち えつろう 氏（絵本作家） ゲスト：伊藤 萌 氏（シンセサイザー）】
 - ・創作エピソードや創作への思い、読み聞かせされることを意識した絵本制作について
 - ・読み聞かせをする上でおすすめの本の紹介
 - ・菊地氏とシンセサイザー奏者の伊藤氏による音楽表現を取り入れた読み聞かせの実演
 - (2) 図書館見学
 - ・図書館職員による施設紹介
 - ・自由見学及び休憩
 - (3) 情報交換及びグループワーク
 - ・参加者がもつ「選本の視点や思い」の共有
 - ・「今、子どもに届けたい本」の紹介
- 4 参加者のアンケートから（記述抜粋）
 - ・絵本についての考え方や絵本を制作するにあたっての背景を知ることができて、とても参考になりました。
 - ・講師の先生や参加者の皆様から読み聞かせに向いている本を教えていただくことができたので、今後の実践に生かしていきたいです。
 - ・自分が知らなかった絵本や皆さんの絵本に対する気持ち等を知り、読み聞かせに対する気持ちがさらに高まりました。



最上地区

- 1 期日・会場 令和7年12月2日（火） ゆめりあ会議室
- 2 参加対象 読み聞かせサークル会員、教員・保育士等、協働活動支援員等、放課後子ども関係者、学校支援ボランティア、公立図書館（室）職員、市町村教育委員会社会教育主管課担当者等（参加者41名）

3 内 容

（1）講演とワークショップ

子どもと本を出合わせる工夫 ～地域の大人にできること～
講師：田口 幹人 氏（NPO法人読書の時間 理事長）

【要旨】

- 学校の図書館の役割
- 朝読書のよさ
- 紙の本を読むということ
- いろいろなジャンルの本を手にとってもらう工夫
- 図書費を獲得するには

（2）情報交換

講演の感想と、日頃の読み聞かせ活動についての情報交換



4 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・朝読書は良いものだとすることを再認識しました。
- ・本を選ぶ行為をしなくなったが、本を「選ぶ」ということが重要だということがわかりました。
- ・本を手にとってもらう方法のアイデアを頂きました。
- ・なぜ読書をするのか、自分自身も明確になった気がします。
- ・今回の続きの講座がありましたら、参加してみたいと思います。
- ・各団体さんにもっと研修会に参加してほしいです。
- ・田口先生に各学校に来てもらいたいです。先生方にも是非お話を聞いてもらえたらいいと思います。

置賜地区

- 1 期日・会場 令和7年11月13日（木） 米沢市市民文化会館
- 2 参加対象 各市町教育委員会社会教育主管課、図書館職員、読み聞かせボランティア、小学校・幼稚園教諭、保育士、公民館・コミュニティセンター職員 等。

3 内 容

- (1) テーマ 絵本専門士による大人のための絵本講座
～2025 今を生きる絵本、その魅力と可能性～

講 師 舟山 康子 氏
(絵本専門士、市立米沢図書館職員)



(2) 講演

- 講演「絵本専門士による大人のための絵本講座」
- 質疑応答 ※質問は事前にフォームで募集
- 施設見学（市立米沢図書館）
 - ・スタンプラリー形式で図書館巡り



4 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・まだ読んだことのなかった心に残る本を知ることができ、心が動かされました。思い込みをなくし、本と向き合っていきたいと思います。
- ・読み聞かせをする側の立場で絵本を選んでいたことを反省しました。毎回本の選書に迷っていましたが、一つの指針になりました。いろいろな本を紹介していただきありがとうございました。
- ・自分の本選びの視点がだいぶ以前のものばかりでしたので、今日の先生のご提示は新鮮でした。絵本に対する先生の情熱あふれる語り、とても良い時間をいただきました。
- ・先生の人柄が伝わってくる良い講演会でした。お話をお聞きして絵本の選び方に「思い込み」があり、ハッとさせられました。「多様性」「ジェンダー」「生と死」など子どもの感性を大切にして選書をしていきたいです。
- ・知らなかったことや意外なことなどがたくさんあり、とても勉強になりました。舟山先生の知識の多さに驚きました。

庄内地区

- 1 期日・会場 令和7年10月23日（木） 庄内町役場大会議室、庄内町立図書館
- 2 参加対象 子どもの読書活動に関わるすべての方、幼稚園・認定こども園・保育所教職員、小・中・高校教職員、市町図書館関係者、読み聞かせサークル会員、各市町職員、地域一般の方等（参加者 29 名）
- 3 内 容
 - (1) 講 話
テーマ：「読書好きな子どもを育てる～子ども真ん中の読み聞かせ～」
講 師：渡邊 裕子 氏（県家庭教育アドバイザー）
【要 旨】①読書の効能
②大人が子どもの読書をコントロールしない
③絵本を真ん中に会ったエピソード
 - (2) 説 明「第4次山形県子ども読書活動推進計画について」
 - (3) 体 験・観 覧「新しい読書のカタチ普及啓発イベント」
- 4 参加者のアンケートから（記述抜粋）
 - ・本に親しむことのよさや、子どもに向き合うときの心構えなどを改めて考えることができた。また、情報交換で読書に関する取組みのアイデアをいただいた。
 - ・研修会に参加すると、初心に返って頑張るような気持ちが湧いてきたり、同じような立場の方と情報交換することで発見があったりして楽しい。
 - ・アクセシブルな書籍を実際に目にする良い機会となった。
 - ・読み聞かせは、子どもの心に種をまき、大人になっても心を支えることがあるということがわかった。
 - ・子どもに無理やり読書を勧めるのではなく、自主性が大事だということを再確認できた。



◆子どもの読書活動推進講座◆

村山地区①

テーマ「ハロウィン★おばけの国への招待状 ～おばけ絵本とランタン作り～」

- 1 期日・会場 令和7年10月26日（日） 西川小学校図書館
- 2 参加対象 3歳～小学3年生程度の子どもと保護者等（参加者：15家庭48名）
- 3 内 容
 - (1) 絵本の読み聞かせとおばけの絵本の紹介
 - ・「サークルぴーつく」さんによる絵本の読み聞かせや紙芝居の実演、おばけの本やハロウィンに関する本の紹介
 - (2) おばけランタン作り
 - ・月山和紙を活用したおばけランタン作り
 - ・「color's」さんによるおばけランタンの製作手順の説明及び製作補助
 - (3) 館内ハロウィンおばけクイズ
 - ・製作したランタンを使ったおばけ探し
 - ・おばけに扮する西川町青少年育成推進員の皆さんがクイズを出題し、お菓子を配付
- 4 参加者のアンケートから（記述抜粋）
 - ・読み聞かせからのランタン作り、それを使っておばけを探しに行くという講座の流れが素敵だと思いました。よい経験ができました。
 - ・ハロウィンの時期にあわせて、読み聞かせの本や工作を楽しむことができて良かったです。本の内容に関するクイズを楽しみながら、おばけ探しができたことも良かったです。
 - ・家ではあまり観る機会のない紙芝居に子どもたちはとても見入っていました。図書館に行く機会に紙芝居を借りてみようと思いました。
 - ・本や紙芝居の読み聞かせ方が勉強になりました。本を使って子どもの会話を豊かにすることができると感じたので、今後は、子どもにもっと読み聞かせをしていきたいと思いました。



村山地区②

テーマ「 恐竜×絵本＝無限大！ ～読み聞かせと化石作りから広がる大冒険～ 」

1 期日・会場 令和7年11月9日（日） 山形県立図書館

2 参加対象 3歳～小学3年生程度の子どもと保護者等（参加者：16家庭48名）

3 内 容

(1) 恐竜に関する大型絵本の読み聞かせ

・東北文教大学児童文化部の学生の皆さんによる大型絵本の読み聞かせ及び楽器演奏

(2) 化石のレプリカ作り

・石膏を使った化石のレプリカ作り、化石の色付け

・山形県立博物館の学芸員の方による製作手順の説明及び製作補助

(3) お楽しみブース巡り

・各ブース(①読み聞かせブース②お絵かきブース③クイズブース④化石ブース)巡り

4 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・とても魅力的な講座で、子ども達が飽きないような仕掛けもたくさんあり、終始楽しかったです。またこのような機会があればぜひ参加したいと思います。また、県立図書館での実施もとても良く、子どもが「この図書館また来てみたい」と言っていました。
- ・東北文教大学の皆さんがとても頑張っていて、子どもたちが夢中になれる内容でした。親子で楽しませていただきました。
- ・恐竜のことを知ることのできる多くの体験があって、子どもがとても楽しそうでした。夢中になって活動していました。
- ・化石作りでは、先生が個別に親切に対応してくれました。力が必要で子どもだけでは難しいところも安心して作ることができました。
- ・普段できないことを色々体験できました。特にレプリカ作りは、初めての体験だったので、大人も子どもも楽しく活動させていただきました。上手にできて良かったです。



絵本の読み聞かせと楽器演奏



親子で化石のレプリカ作り



各ブースを巡って本に親しむ



本物の化石にタッチ

最上地区

- 1 期日・会場 令和7年10月4日（土） 新庄市民プラザ
- 2 参加対象 最上地区の小学生の親子（参加者 親子17組38名）

3 内 容

テ ー マ 「親子で楽しむ パンと絵本」

講 師 ○パン作り講師：和田 和子 氏（キッズキッチンインストラクター）
○おはなし会：新庄市読み聞かせ連絡協議会（新庄市）

活動内容 ○おはなし会
○パン作り体験



4 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・ ゆっくりパンを作ったり、絵本を読み聞かせしていただいたり、ゆったり過ごせた時間でした。子どもとも楽しい時間を過ごせました。
- ・ 読み聞かせがすばしかったです。
- ・ 親もひと息つくことができました。
- ・ パン作りが初めてで、親も子も楽しむことができました。
- ・ 子どもと親、別々の読み聞かせ、良かったです。大人にも絵本を読んでもらえてうれしかったです。

置賜地区

テーマ 『Let's 理科読～音って何だろう～』

1 期日・会場 令和7年7月12日（土）

南陽市赤湯公民館

2 参加対象 置賜管内の幼児～小学6年生

親子9組 23名

3 内 容

絵本の読み聞かせと理科の実験を組み合わせて実施。

(1) 絵本の読み聞かせ

講師：理科読マイスターの方

(2) 理科実験の解説

講師：栗山 恭直 氏（山形大学理学部教授）

4 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・実験がたくさんあって良かったです。今回の講座のよういろいろな本の活用の仕方、楽しみ方を体験できる機会を増やしてほしいです。
- ・モールが回る実験が楽しかったです。読書の大切さは大人になると、とても大切であると分かります。子どもにも今のうちから本に親しむ大切さを伝えていきたいです。
- ・草笛の吹き方が分かって良かったです。家でもできるものがあったので、子どもと一緒にやってみたいと思いました。親子で参加できるこのような講座をまた企画してほしいです。
- ・実際に風船や葉っぱなどを使って音を出す楽しさがあり良かったです。違う学校の子どもや保護者とも関わる機会があり充実した一日になりました。



庄内地区

テーマ プラネタリウムと絵本で星と宇宙の世界へ出発！

- 1 期日・会場 令和7年6月28日（土） 鶴岡市中央公民館
- 2 参加対象 小学1・2年生の親子20組42名（小学生20名・保護者20名
未就学児2名）

3 内 容

（1）プラネタリウム鑑賞

（2）星や宇宙に関する読み聞かせ

- ①「北斗七星」（素語り）
- ②「パパ、お月さまとって！」
- ③「よかったね、ネッドくん」

講師：井上 裕子 氏、奥村 由未 氏、菅原 希 氏、杉本 秀夫 氏
（読み聞かせサークル「おはなしポケット」）

（3）七夕かざり作り

講師：読み聞かせサークル「おはなしポケット」

4 参加者（保護者）のアンケートから（記述抜粋）

- ・絵本などのように目で見て耳で聞いてというのも良いが、語りのように耳で聞いて自分で想像力を膨らませることも大切だなと思った。語りは初めての体験だったので、良い経験になったと思う。
- ・季節に応じた本を探すのも楽しいと感じた。
- ・工作が特に楽しかったようで、家に帰ってから飾り付けを楽しんでいた。プラネタリウムなど普段では経験できないことを経験できてよかった。



第3章

県家庭教育アドバイザー

山形県家庭教育アドバイザーとつくる講座

山形県教育委員会では、今年度、27 名を「山形県家庭教育アドバイザー」として委嘱しています。アドバイザーは、各学校や保育所等で家庭教育に関する講座を企画、開催する際の推進役となります。

また、アドバイザーには、本冊子の 1 章にある「子どもの生活習慣に関する指針」の策定に当たり、ご意見も伺いました。

講座の実施にあたり、「子どもの生活習慣に関する指針」の中にある「やまがた子育て 5 か条」に触れたり、「やまがた子育て 5 か条リーフレット」を活用したりする際は、アドバイザーと協働しての実施も検討ください。

アドバイザーのプロフィール等を次ページ以降に掲載していますので、参考にしてください。



令和8年度 山形県家庭教育アドバイザー一覧

地 区		氏 名	職 名	専 門 領 域
村 山	1	えんどう まさあき 遠藤 正明	元山形県PTA連合会長	家庭教育全般
	2	はたなか まきのり 畑中 昌則	山形県マジック協会会長	しつけ 孫育て
	3	わたなべ ゆうこ 渡邊 裕子	紙ふうせんの会代表、元保育園長	読み聞かせ わらべうた 幼児共育
	4	いとう ようこ 伊藤 洋子	臨床心理士、県スクールカウンセラー	臨床心理
	5	にへい あけみ 二瓶 明美	認定音楽療法士、にこにこ音楽子育て支援の会 会長	家庭教育全般 特別支援教育 親子ふれあい活動
	6	やぐち ゆり 矢口 友理	山形大学教育学部准教授	食育 スポーツ栄養学
	7	むらやま けいこ 村山 恵子	NPO法人「クリエイトひがしね」事務局長、心の教育相談員	育児支援 幼児共育 遊育
	8	さきはら えいこ 笹原 英子	元小学校教諭、公認心理師、県スクールカウンセラー	子育て相談 家庭教育全般
	9	おおぬま ちえ 大沼 千絵	元小学校教諭、県スクールカウンセラー	教育相談 家庭教育全般
	10	すずき りえこ 鈴木理枝子	学校心理士、ガイダンスカウンセラー、元幼稚園長、元小学校長	家庭教育全般 教育相談
	11	つちや つねよし 土屋 常義	元山形県朝日少年自然の家所長、元小学校長、村山市はやま認定こども園長	家庭教育全般 地域教育全般 自然体験学習
	12	きくち きみこ 菊地喜美子	フリーアナウンサー、こどもアナウンス発声協会講師	コミュニケーション 言葉の表現
	13	すとう よしこ 須藤 好子	元養護教諭、一般社団法人日本アンガーマネジメント協会認定、アンガーマネジメントコンサルタント、アンガーマネジメントチーフファシリテーター、アンガーマネジメント叱り方トレーナー、アンガーマネジメントハラスメント防止アドバイザー	アンガーマネジメント ストレスマネジメント
最 上	1	あべ あきら 阿部 彰	パリス保育園長	子どもの教育全般
	2	きたう なるみ 佐藤 成美	家庭教育応援・ボランティア活動団体「アベルんち」代表、新庄市読み聞かせ連絡協議会長	不登校 障がい児に対する支援 読み聞かせ
	3	いとう じゅんこ 伊藤 淳子	特定非営利活動法人 さけがわ友遊クラブ クラブマネジャー	健康づくり・レクリエーション
	4	ぬまさわ なおと 沼澤 直人	最上広域交流センターゆめりあ館長、元小学校長	学校教育 社会教育 体験活動
置 賜	1	くろだ みか 黒田 三佳	人材育成アカデミーローズレーン 代表、里山ソムリエ®	家庭教育全般
	2	たかはし まゆみ 高橋まゆみ	エッセイスト、元南陽市教育委員会教育委員長	家庭教育全般
	3	おの たくや 小野 卓也	三峯山洞松寺住職、人権擁護委員、保護司	家庭教育全般
	4	こまつ ひろみ 小松ひろみ	元養護教諭、長井市教育相談員	生活リズム 心の健康
	5	いわくら ゆみ 岩倉 由美	元小学校長、米沢市教育委員会 学校教育専門員、米沢市人権擁護委員	生活習慣づくり 子育て支援
庄 内	1	さいとう まさし 齋藤 雅志	山形県体操協会会長、前山形県国公立幼稚園会長	家庭教育全般 幼児・小学生
	2	ごとう けいこ 後藤 敬子	ごっと助産院院長	命の誕生 思春期 性教育 生き方教育
	3	かねこ たけし 金子 健	個別支援教室ここ代表	特別支援教育(発達障がい) 子育て支援
	4	たんじ あかね 丹治 亜香音	特定非営利活動法人 明日のたね 代表理事、山形県教育委員	子育て支援 自然体験活動
	5	うたがわ ゆたか 歌川 裕	SR会代表、東北公益文科大学 非常勤講師	家庭教育全般(小学生・中学生・子育て)

村山地区

えんどう まさあき

遠藤 正明 氏 (山形市在住)

《専門領域：家庭教育全般》

【プロフィール】

山形市山寺地区で商店を経営する傍ら、地元小学校のPTA活動に長く携わり、保護者と地域の結びつきを大切にした取組みで学校を支えてきました。

平成18年から4年間、山形県PTA連合会の会長として保護者の意識調査などを実施し、家庭教育の大切さを提言しました。また、社団法人日本PTA全国協議会の副会長として、全国でも活躍しました。

長年のPTA活動の中で学校・地域に関わってきた経験をもとに、子どもたちへの情熱あふれる思いを、ユーモアを交えてエネルギッシュに語る姿が、聞く者に勇気を与えてくれます。



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
中学生の保護者	親としてどう子どもと関わっていくか	大石田町
高校生の保護者	子どもの悩みと向き合う活力あるPTA活動	山形市
小学生の保護者	子どもをやる気にさせる親の関わり	河北町
小学生の保護者	キラリと光る宮川地区	上山市
中学生の保護者	保護者としての子どもとの関わり方	寒河江市
町連合PTA	PTAの魅力 たっぷり語ります	大江町
中学生の保護者	親の心得	山形市

畑中 昌則 氏 (山形市在住)

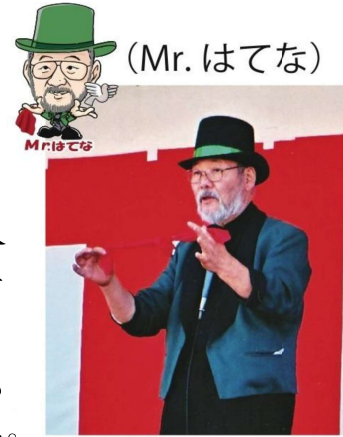
《専門領域：しつけ・子育て》

【プロフィール】

山形市西崎で看板制作会社を経営する傍ら、山形県マジック協会の会長として、学校や乳幼児施設、高齢者施設等でマジック&トークショーに取り組んでいます。

また、県教育委員会が主催する中高生を対象にした「ボランティアセミナー」では、長年実技講師を務め、マジックのみでなくボランティアの考え方やコミュニケーションの大切さについて子どもたちに伝えました。

ユーモアたっぷりのマジックを織り交ぜながら、子育てのポイントや子どもとのかかわり方を、温かいメッセージとともに話ししています。



【主な講演・活動内容】

対 象	演題・活動内容	開催市町
園児と保護者・祖父母	畑中先生のマジックショー・子育て講座	西川町 尾花沢市
園児と保護者	親子で楽しむ保育園まつり	村山市
園児と保護者	親子ふれあい活動／子育てを楽しもう	河北町
小学生の保護者	子育てはたのしくよ	朝日町
園児と保護者	保育所「マジックショー」(親子参加型) 講師	寒河江市
園児と保護者	幼稚園 子育て講演会 講師	山辺町
青年会議所会員	「趣味と笑いとやる気を」 講師	村山市

渡邊 裕子 氏 (山形市在住)

《専門領域：読み聞かせ・わらべうた・幼児共育》

【プロフィール】

長年、保育士として保育園、子育て支援の現場で活躍。また、紙ふうせんの会の代表として、山形市を中心に活動しており、県内各地で読み聞かせ・わらべうたの講師としても活躍中です。温かな語り口と子どもたちの心に寄り添ったお話は、参加者から大好評です。

幼児期の子どもたちへの寄り添い方や、親子でできるわらべうた、読み聞かせにふさわしい環境づくり等について、これまでの実践をもとに具体的にお話ししています。



【主な講演・活動内容】

対 象	演題・活動内容	開催市町
中学生の保護者	子育ては、いつまでたっても1年生	上山市
小学生と保護者	親子読み聞かせとミニ講話「絵本は心の栄養剤」	尾花沢市
小学生の保護者	親子の真ん中に絵本を！	中山町
乳幼児と保護者	親子で読み聞かせ体験 ～わらべうたと絵本を楽しもう～	河北町
園児の保護者	笑顔が生まれる絵本タイム	寒河江市
園児の保護者	人とふれあう喜び、人の声のぬくもりが心の栄養剤	東根市
読み聞かせ活動関係者等	読育推進ネットワーク研修会「こころを育み こころをつなぐ みんなで読育」	天童市
家庭教育関係者等	家庭教育支援フォーラム「子どもを育てる大人の個性」 事例提供「読育による家庭教育支援」	寒河江市

い と う よ う こ

伊藤 洋子 氏 (山形市在住)

《専門領域：臨床心理》

【プロフィール】

山形県公認心理師・臨床心理士協会では、会長を務められ、発達段階に応じた幅広い年齢層の保護者の相談に応じています。また、山形県スクールカウンセラーアドバイザーとして、県内のカウンセラーの指導にあたっています。山形大学地域教育文化学部の客員教授として学生に指導するなど、多方面で活躍中です。

わかりやすい映像資料と豊富な事例を交えての講演が好評で、各方面より講演依頼が多数寄せられています。



【主な講演・活動内容】

対 象	演題・活動内容	開催市町
小学生の保護者	子どもの自尊感情を高める親の関わり	山形市 上山市 白鷹町
小学生の保護者	一人ひとりが輝ける社会を目指して～発達に偏りがある児童への気づきと支援～	寒河江市
中学生とその保護者	ネット依存について	山形市 天童市
中学生とその保護者	レジリエンスを高めよう	山形市 寒河江市 西川町
中学生とその保護者	思春期のころ	山形市 天童市
幼稚園・保育所・こども園の教職員	保護者との信頼関係づくり	山形市他
小・中学校、高校の教員	不登校について、自傷・自死予防について	山形市 鶴岡市 他
家族会関係者等	子どもの心に寄り添う	大江町

に へ い あ け み

二瓶 明美 氏 (天童市在住)

《専門領域：家庭教育全般・特別支援教育・

親子ふれあい活動》

【プロフィール】

武蔵野音楽大学短期大学部で声楽を、放送大学と山形大学大学院教育学研究科で発達と教育について専攻し、現在は、日本音楽療法学会認定音楽療法士、日本タッチケア協会認定指導員などの資格を持ち、山形県立中央病院 NICU・GCU・小児科音楽療法士、にこにこ音楽子育て支援の会会長などを務めています。

『あなたの好きな歌はなにあい？音楽療法士がおくる楽しいうた絵本』や『小1プロブレムを防ぐ保育活動』（共著）、『知的障害・発達障害の教材・教具117』（共著）などの著作があり、全国で音楽、福祉、教育などの分野で講演・演奏活動、親子ふれあい活動を行うなど多方面において活躍しています。



【主な講演・活動内容】

対 象	演題・活動内容	開催市町
園児と保護者	親子で音楽遊び	河北町
園児と保護者	冬を楽しむ音楽会	村山市
保護者	子育て親子のふれあい ～家庭の中に音楽を～	大石田町
家庭教育関係者等	家庭教育支援フォーラム「子どもを育てる大人の個性」事例提供「音楽による家庭教育支援」	寒河江市
園児と保護者	クリスマス音楽会	村山市

矢口 友理 氏 (河北町在住)

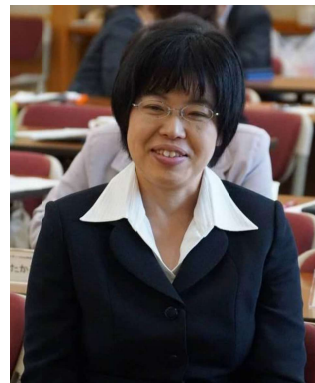
《専門領域：食育・スポーツ栄養学》

【プロフィール】

山形大学教育学部では生活習慣や食習慣と疾病発症との関わりやスポーツ選手の栄養マネジメントを専門に研究しています。

大学で教鞭を執る傍ら、山形県内では数少ない公認スポーツ栄養士として、スポーツ少年団関係者の研修会等の講演活動やスポーツ選手の栄養サポートも行っています。

子どもの心身の発達と食事の関係性や、親子で食事をとったり料理をしたりする教育的効果について、豊富な事例と科学的な根拠に基づいた適切なアドバイスをしています。



【主な講演・活動内容】

対 象	演題・活動内容	開催市町
小学生の保護者	食と健康・学力	寒河江市
小学生の保護者	食と健康・学力	尾花沢市
養成講習会受講者	スポーツ少年団認定員養成講習会 講師	山形市
家庭教育関係者等	家庭教育支援フォーラム「子どもを育てる大人の個性」 事例提供「食育による家庭教育支援」	寒河江市
園児の保護者	家庭における食育	山辺町

村山 恵子 氏 (東根市在住)

《専門領域：育児支援・幼児共育・遊育》

【プロフィール】

東根市の子育て支援施設「さくらんぼタントクルセンター」と「ひがしねあそびあランド」を運営しているNPO法人「クリエイトひがしね」において事務局長を務め、育児相談や子育て講座の企画など、子育て中の親に対する支援に取り組んでいます。また、昨年からは市内小学校で心の教育相談員として、子どもと保護者の相談に応じています。子どもにとっての最善の利益を追求するために、子ども自らが遊びを通して主体性や創造性、社会性を育む「遊育」と地域ぐるみで子どもを共に育てる「共育」の実践を通して、豊かな地域社会の再生をめざし、活動を展開しています。



【主な講演・活動内容】

対 象	演題・活動内容	開催市町
保育施設・小学校の保護者	子どもの育ちをまんやかに～子ども・保護者・教員の幸せのために～	村山市
入学前（小学校）の子の保護者	小学校就学前後の子どもとのかかわり方	寒河江市
保育士	子どもを主体的にとらえる保育の視点	尾花沢市
小学校教員	子どもの居場所づくり	東根市
学童保育指導員	子どもの主体性・協調性を育む遊びの力	東根市
一般保護者	イヤイヤ期は成長のサイン！子どもの成長に寄り添う接し方	東根市

笹原 英子 氏 (東根市在住)

《専門領域：子育て相談・家庭教育全般》

【プロフィール】

長年小学校教諭として勤務し、学級づくりや教育相談に関する実践を重ねてきました。現在は、保育園、小・中学校のスクールカウンセラーや発達に関わる相談員を務めています。

働く親、教員、そしてカウンセラーとしての体験をふまえ、心理学的な視点から、子どもの自立心・やる気を伸ばす大人のあり方について分かりやすくお話しします。明るく楽しく子どもと向き合うコツをつかんで、元気になれる講演活動を信条としています。



【主な講演内容】

対 象	内 容	開催市町村
園児、小学生の保護者	にこにこ親子のポジティブコミュニケーション 心に寄り添う言葉かけ	舟形町 鮭川村大江町
小学生とその保護者	みんなのいのちのおはなし	尾花沢市
小学生の保護者	思春期の入口の子どもたちへの接し方～メディアコントロールに関わって～	新庄市
小学生の保護者・保健委員会	心もからだも健康に ～寝る子は育つ～	東根市
就学児をもつ保護者	就学前後の子どもとのかかわり方・自立的な子どもを育てる親の関わり	河北町 寒河江市
小・中学生の保護者・母親委員会	自立的な子どもを育てる親の関わり・「勇気づけ」の子育て	村山市 最上町 金山町
学童保育所指導員	子どもの自尊心や やる気を育てる関わり	寒河江市
小学生とその保護者	コミュニケーションゲームでもっとなかよく	天童市 (県青年の家)
小学生の保護者	子どもの自尊心を育む勇気づけの子育て	真室川町 山形市

大沼 千絵 氏 (山形市在住)

《専門領域：教育相談・家庭教育全般》

【プロフィール】

長年小学校教諭として勤務し、それぞれの学校現場で多くの児童や教員仲間と向き合い支援してきました。

教育相談を長く学ぶ中で、特に「解決志向ブリーフセラピー」との出会いにより、前向きで未来志向の相談活動を数多く実践してきました。また、不登校の児童や保護者との関わりも多く経験してきました。

退職後は、山形県教育相談員として中学校に勤務しながら、小・中学校で児童生徒理解や関わり作り等の研修会で講師を務めています。

現在は、山形県スクールカウンセラーとして、中学校での教育相談支援活動を行っています。



【主な講演・活動内容】

対 象	演題・活動内容	開催市町
登校への悩みを考える親の集い	子どもの心に寄り添う	山形市
中学校就学生徒の保護者	中学生の親として	西川町
小学校就学児童の保護者	子育て講座 小学校で子育てを楽しむために	川西町
小学校就学児童の保護者	「自立する子」に育つ親と子のかかわり	寒河江市 西川町
小・中学校の教員	学級作り講座 望ましい人間関係を築く集団作り	山形市 天童市 河北町 東根市
幼児（就園前）と保護者	ゆったり・ゆっくり子育て講座 わが子のリソースさがし	中山町
幼児（就園前）と保護者	子育てを楽しんじゃおう！	中山町

す ゑ き り え こ

鈴木 理枝子 氏 (村山市在住)

《専門領域：家庭教育全般・教育相談》

【プロフィール】

長年小学校教諭として子どもの成長に携わり、山形大学附属幼稚園長、公立小学校長を務めました。また、その間日本教育相談学会に所属し、教育相談・カウンセリングなどを学び「学校心理士」「ガイダンスカウンセラー」の資格も取得しました。

幼稚園や小学校での勤務経験とアドラー心理学の「勇気づけ」の考え方を中心に、これからの時代を生き抜くために大切な「心の力を育む親の関わり方」「やる気を引き出すコミュニケーション」などについて演習を通してわかりやすくお話ししています。



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
園児の保護者	子どもは十人十色 ～成長を支える大切な親のかかわり方～	山形市
就学児の保護者	勇気づけで楽しく子育て ～心を元気に 体を元気に～	寒河江市・山形市
小・中学生の保護者	困り感を持つ子どもの支援	山形市
幼保小連携関係者	「幼・保・小をつなぐ」支援のあり方	米沢市
小学生の児童・保護者	未来のために 今、親子で一緒に考えよう ～ゲーム・SNS との上手な付き合い方～	新庄市
小学生の保護者	親子のコミュニケーションを活用した SNS との上手な付き合い方	天童市
小学生の保護者	子どもの能力（チカラ）を伸ばす親のかかわり方	河北町
小学生の保護者	親子で話そう「ゲーム・SNS とのつき合い方」	朝日町・大石田町

つ ち や つ ね よ し

土屋 常義 氏 (村山市在住)

《専門領域：家庭教育全般・地域教育全般・自然体験学習》

【プロフィール】

長年、小学校長として学校経営にかかわった経験から、「子育て」や「親育ち」に加え、学校や企業の「人材育成」について熱く語る姿は、聞く方々に関わり方のヒントや勇気を与えてくれます。

山形県朝日少年自然の家在所長時代は、自然の中での体験活動の大切さ、その体験を介した「親子共有」や「感動共有」についても強く発信しました。

現在は村山市内の認定こども園長、及び隣接の東根市内 NPO 法人の理事なども務め、子育て世代の方々と直接かかわりながら、「周囲の大人にできること」について発信しています。

社会教育主事の資格も有し、家庭教育から地域教育、自然体験学習まで幅広い対応が可能なアドバイザーです。



【主な講演・活動内容】

対 象	演題・活動内容	開催市町村
幼稚園教諭・保育士等研修会	幼児期における自然体験の重要性 ～成長は想定外の出来事から～	村山地区 尾花沢市
「ファミリーサポ」会員研修会	◎ 子どもの自己肯定感を高めるために～周囲の大人にできること～ ◎ 「共育応援団」 共に学び 共に笑い 共に育ち合う	米沢市 山形市 天童市 山辺町 中山町 寒河江市 西川町 河北町 村山市 東根市 尾花沢市 大石田町 新庄市 金山町 大蔵村
青少年健全育成市民（町民）会議		
山形県学童保育研究協議会		
幼稚園・こども園保護者研修会		
小学校保護者研修会 (母親研修会・就学時健診)		

き く ち

き み こ

菊地 喜美子 氏 (山形市在住)

《専門領域：コミュニケーション・言葉の表現》

【プロフィール】

天童市出身で大学を卒業後、NHK 山形放送局でリポーターとして県内を駆け回り、その後、東京でフリーアナウンサーとして活動を開始しました。現在は山形をはじめ、東北各地でテレビやラジオへの出演、イベントの司会等、現役アナウンサーとして活動をしています。

全国のアナウンサーが、声を出すことの楽しさを子どもたちに伝える「こどもアナウンス発声協会」の会員であり、山形県内では唯一の講師です。また、2015 年から子ども向け話し方講座をスタートし、現在は、言葉に特化した「山形まる語学校」で、子どもから大人までを対象に、伝えたい人に伝わる言葉の選び方や使い方を広めています。

現役アナウンサー、小学校勤務の経験を活かし、発声、早口言葉、「発表音読」、ニュース・リポーター体験、モニター、カード、絵本など、言葉によるコミュニケーションを楽しむ体験を実感できる講座を実施しています。「言葉は自分も周りも幸せにする贈り物」として、言葉で「心がまあるくなるコミュニケーション」活動を展開しています。コミュニケーションの原点と自分らしい伝え方の方法を学べる『まる語 (第1弾)』の本も出版しています。



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
小学生と保護者	親子が笑顔になる魔法の言葉	山形市
教育関係者	実践！今すぐできる！伝わるコミュニケーション術！	天童市
保育士	認め合える言葉の楽しみ方	天童市
幼児と保護者	自分の気持ちを伝える楽しさ！伝わる楽しさ！	山形市
小学生の保護者	心がまあるくなる言葉♪	山形市他

す と う

よ し こ

須藤 好子 氏 (山形市在住)

《専門領域：アンガーマネジメント・ストレスマネジメント》

【プロフィール】

長年に渡り養護教諭として、小中学校で子どもたちを指導するとともに、多くの児童や教職員と向き合い、教育相談等で支援してきました。退職後、円滑な人間関係を構築するための関わり方を伝える必要性を感じ、一般社団法人日本アンガーマネジメント協会の「アンガーマネジメントコンサルタント」「アンガーマネジメントチーフファシリテーター」「アンガーマネジメント叱り方トレーナー」「アンガーマネジメントハラスメント防止アドバイザー」の資格を取得しました。

現在は、教育現場にとどまらず、企業・団体における研修会や講演会での講師を務め、怒りの感情との付き合い方、思いの伝え方をアドバイスしています。

ストレスマネジメントの講演では、まずは大人がストレスと上手に付き合い、しなやかに生きるためにはどうしたらいいのかを具体的な場面や演習を用いながら、参加者の気持ちに寄り添ってわかりやすくお話ししています。



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
保護者	すべての人に届けたいアンガーマネジメント～子育てを楽しく～	鶴岡市 新庄市他
企業団体	パワーハラスメントを起こさない組織	山辺町 寒河江市他
PTA 連合会 PTA 連絡協議会	いじめ防止に活かすアンガーマネジメント	舟形町 大江町他
山形県学童保育連絡協議会	アンガーマネジメントで学ぶ思いが伝わる叱り方	天童市
青少年健全育成町民大会	今日からできるアンガーマネジメント	朝日町
教職員	教育に活かすアンガーマネジメント・職員のストレスマネジメント	山形市 米沢市他

最上地区

あ べ あ き ら
阿部 彰 氏（新庄市在住）

《専門領域：子どもの教育全般》

【プロフィール】

社会福祉法人みらい「パリス保育園」園長。園においては、乳児期に育まれる人との愛着関係を基盤に、自ら考え判断する力や意欲、物事に粘り強く取り組む力が培われるという信念で豊かな環境づくりを実施しています。

子育てについて、つい考えすぎてしまうという家庭に対して「気負わず、決して負担に思わない。子育てを通して、大人も学び成長していこう。」と力強くメッセージを送ります。

これまでの実践や経験をもとに、子育て全般についてアドバイスをを行っています。



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町村
小学生の保護者	小学１年生のうちに身につけさせたい生活習慣	戸沢村
事業所の従業員	思春期の子どもへのかかわり方 ～ゲーム・ネットとうまく付き合うためには～	新庄市
保育園児の保護者	子どもの根っこを育てる	大蔵村
小学校の保護者・教職員	発達段階に応じた子育てのコツ	最上町
小学生・保護者	親と子のかかわり	鮭川村

佐藤 成美 氏 (新庄市在住)

《専門領域：不登校・障がい児に対する支援・読み聞かせ》



【プロフィール】

特別支援学校の講師、障がい児放課後デイサービス支援員としての勤務経験があります。読み聞かせサークルにも所属し、日頃から様々な場での読み聞かせ活動に取り組んでいます。長年「つながり－出会い－発見」をキーワードにして「家庭教育応援ボランティア活動団体・アベルんち」の代表として、仲間とともに楽しく活動してきました。

不登校や発達障がい等の課題をもつ子どもの理解と接し方に加え、これまでの実践をもとに具体例をあげて講演を行っています。また、「リースの会」「イマール」など、親との語りの場づくりや居場所づくり、研修会などを開催しています。

【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
小学生の保護者	就学前後の子どもへのかかわり方	金山町
小学生の保護者・祖父母	みんなで子育て 孫育て ～わたしの経験・困りごとについてみんなで話し合おう～	新庄市
事業所の従業員	「子育てをしながら働く」を考える ～仕事と育児の両立のために～	舟形町
小学生の保護者・教職員	みんなで子育て ～子どもに響く言葉かけ～	天童市
事業所の従業員	発達障がいがある子どもへの理解と家庭でのかかわり	最上町

伊藤 淳子 氏 (鮭川村在住)

《専門領域：健康づくり・レクリエーション》



【プロフィール】

鮭川村の総合型地域スポーツクラブ「特定非営利活動法人さけがわ友遊クラブ」においてクラブマネジャーを務め、エアロビクス、グンス、介護予防教室、ヨガ、キッズ体操、ノルディックウォーキングなどの指導に取り組んでいます。これまでも、様々なスポーツクラブでインストラクターとして勤務されました。

モットーは、『楽しく』『自分が楽しめなければお客さんも楽しめない』『人は十人十色であり、同じ人はいない』ことを念頭に置きながら、相手の特性や特徴に合わせた指導を心がけています。

【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町村
幼児とその祖父母	ふれあい体操 (幼児共育ふれあい広場)	大蔵村・鮭川村 他
幼児とその保護者	親子でふれあいまねっこヨガ (幼児共育ふれあい広場)	新庄市
幼児とその保護者	アクティブ・チャイルド・プログラム	鮭川村
40代～70代の方	介護予防教室	鮭川村
40代～70代の方	エクササイズ教室	鮭川村
幼稚園教諭	子どもの発育に合わせた体操など	尾花沢市・新庄市

沼澤 直人 氏 (新庄市在住)

《専門領域：学校教育・社会教育・体験活動》

【プロフィール】

令和6年3月 最上町立大堀小学校を校長で退職

令和6年5月 山形県神室少年自然の家研修担当

令和7年4月 家庭教育アドバイザー

長年、学校教育と社会教育の融合を研究してきました。学校教育では、現代の子どもたちに本当に必要な“生きる力”とは何なのかをテーマとして学校経営を実践してきました。社会教育では主に体験学習法を研究し、大人と子どもの社会力育成を目指して様々な取り組みをしてきました。

平成20年度から新庄市子ども芸術学校実行委員、令和6年度から実行委員長を務めています。

また夏場は、最上地区サッカー協会のシニアチームに所属し、技術委員を務めながら現役プレイヤーを続けており、冬場は赤倉温泉スキー場スキースクールのインストラクターを務めています。



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
小学生の保護者	自立した学び手と社会力の育成～子どもの思考を体験しよう～（子育て講座）	新庄市
小学生の保護者	子どもたちにつけたい本当の力とは～子どもの思考を体験しよう～	最上町
幼稚園、保育園等職員	子どもの社会力と自立した学び手の育成	最上町
幼児の保護者	子どもたちの思考を体験しよう～子どもたちにつけたい本当の力とは～	最上町
社会教育施設職員	体験学習法の理解～ウェルビーイングの向上を目指して～	真室川町

置賜地区

く ろ だ み か
黒田 三佳 氏 (米沢市在住)

《専門領域：家庭教育全般》

【プロフィール】

北欧デンマークで暮らした後、旅で訪れた米沢に魅せられ家族で移住し、里山でヤギを飼い、子育てを経験。人材育成アカデミーローズレーンを立ち上げ、民間企業や行政の人材育成に携わっています。また、自宅に続く2000坪の森を自ら整備開放し「森のようちえん」の活動や里山での英語教育も行っています。

平成23年度からは県家庭教育アドバイザーとして、新しい時代に向けた「山形の子育てのすばらしさ」を伝え、将来のキャリアを輝かせるマナーやコミュニケーションなどの研修や講演を行っています。米沢市国際交流協会会長、山形大学工学部建築デザイン学科、鶴城高校専攻科非常勤講師なども務めています。

著書「森に暮らす」「森とかてもの」

＜元（株）日本航空国際線客室乗務員 東京都出身 里山ソムリエ＞



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
就学前児童の保護者	みんなで育てる子どもの児童期	米沢市
就学前児童の保護者	大切な児童期とそこにある素敵なこと	高畠町
就学前児童の保護者	これからの時代を創る子どもたち～共に未来を輝かせよう～	長井市
就学前児童・小学生の保護者	「グローバル」な子どもを育てる	南陽市
小学生の保護者・地域の方	古（いにしえ）と未来をつなぐ子どもたち	高畠町
こども園児の保護者	笑顔が生まれる素敵なマナー	白鷹町

高橋 まゆみ 氏 (南陽市在住)



《専門領域：家庭教育全般》

【プロフィール】

NHK 山形放送局でニュース番組などを担当し、現在はフリーアナウンサー、エッセイストとして活躍しています。また、料理教室主宰（食育・薬膳コーディネーター）として食文化を発信しています。平成 24 年度より県家庭教育アドバイザーとして「言葉の力」「話し方」「食の力」「おもてなしの心を育む日本のマナー」等のテーマで講演を行っています。親子の愛情を基盤とし、季節を楽しむ工夫や日常における心遣いのヒント等を交え、気持ちに潤いが生まれ元気になれるような講座・研修会を心がけています。

＜元南陽市教育委員長＞

【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
就学前児童保護者	就学時健診・子育て講座	南陽市・白鷹町
小学校保護者	さまざまなことを知りたい 豊かな毎日のために ～明日は誰にもわからない。だから人は夢を見る～	長井市
企業団体	伝わる言葉と暮らし～ <i>Kotoba-to-Kurashi</i> ～	米沢市
就学前児童保護者	だいじょうぶ だいじょうぶ ― 子どもの心に寄り添って ―	米沢市・飯豊町
就学前児童保護者	豊かな言葉とやさしい心を育てるために	米沢市・長井市・飯豊町
幼児・児童と保護者	絵本 de カフェ ― 絵本の中のレシピを作ってみよう ―	米沢市・長井市・南陽市

小野 卓也 氏 (長井市在住)



《専門領域：家庭教育全般》

【プロフィール】

1998 年、24 歳で長井市草岡の洞松寺第 33 代住職に就き、2001 年から 2009 年までは家族で茨城県に住みながら同寺に通っていました。その後、子どもの小学校入学を機にふるさと長井へ居を移し、妻が単身赴任の中、「主夫」として 3 人の子育てをしてきました。

「仏の教え」に基づいた、心の健康やストレス解消等をテーマにした講演会や家族一緒に楽しい時間を過ごすコミュニケーションツールとして世界のボードゲームを実際に遊ぶ体験会を県内各地で開催しています。米沢女子短大非常勤講師、人権擁護委員、保護司、ボードゲームジャーナリストなども務め、男女共同参画社会づくりにも尽力しています。

【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
保育園児の保護者	幼児の発達と睡眠について	長井市
小学生の保護者	メディアとうまく付き合う方法	米沢市
就学前児童の保護者	小学校入学を前に心がけたいこと - 早寝、メディア、会話 -	川西町・小国町
就学前児童の保護者	幼児期から児童期にかけての親のかかわり方	米沢市
園児とその保護者	親子で楽しむボードゲーム	白鷹町
企業団体	これからの働きやすさを考えよう	南陽市

小松 ひろみ 氏 (長井市在住)



《専門領域：生活リズム・心の健康》

【プロフィール】

長年にわたり養護教諭として、小中学校で指導してきました。全校朝会時に子どもと一緒に劇を行い、悩みの解消法を伝えるなど心の健康づくりに努めてきました。現在は、長井市の教育相談員を務めています。

生活リズムを整えることの大切さとともに、心の健康についてもお話しています。

学校現場での豊かな経験を生かし、児童生徒一人ひとりによりそったサポートや、保護者も子どもも心が元気になれるような講座や研修会を心がけています。

【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
就学前児童保護者	家庭における子育てについて～子どもの育ちを支援して～	長井市・高島町・川西町・小国町・白鷹町・飯豊町
小学生・保護者	親子の関わりと心の健康 ～ゲームや生活リズム～	米沢市・小国町・飯豊町
子ども園保護者	生活リズムと心の健康 ～自己肯定感を育む親子関係～	南陽市
小学校保護者	コミュニケーションと心の健康～親子の関わりについて～	小国町・河北町
中学校保護者	コミュニケーションと思春期の心の健康について	小国町

岩倉 由美 氏 (米沢市在住)



《専門領域：生活習慣づくり・子育て支援》

【プロフィール】

令和2年3月米沢市立三沢東部小学校を校長で退職。

退職後は市内の小学校をまわり初任研担当教員として、後進の育成に尽力しました。また、人権擁護委員として、地域住民が抱える問題に関する相談活動に取り組むとともに、米沢市の学校教育専門員として、学校が抱える様々な課題に対する助言や支援にも携わっています。

長年の教育現場での経験を活かし、具体的な事例を交えながら、「自尊感情の育て方」「言葉の大切さの伝え方」「子どもへの関わり方や親子のコミュニケーション」などをテーマに、主に小学校入学前の保護者を対象とした講演を行っています。

【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
就学前児童の保護者	就学前の今 大切にしたいこと	米沢市
就学前児童の保護者	子どもたちがよりよい生活を送るために	米沢市

庄内地区

さいとう まさし

齋藤 雅志 氏 (庄内町在住)

《専門領域：家庭教育全般（幼児・小学生）》

【プロフィール】

平成24年3月庄内町立立川小学校を校長で退職

平成24年4月から山形県家庭教育アドバイザー

平成30年3月まで三川町立みかわ保育園・幼稚園園長

幼・小連携の接続プログラムの開発や幼児期から児童期にかけての発達課題・子育て支援について研究しています。また、社会体育としてのスポーツ活動の普及にも取り組み、小中学生や一般社会人を対象とした体力づくり教室、立川体操スポーツ少年団や小学校の器械運動の指導も行っています。今、課題になっている「いじめ・体罰」防止策にも取り組んでいます。社会教育担当者や高齢者を対象にした生涯学習全般の支援にもあたっています。

前山形県国公立幼稚園会会長、山形県スポーツ少年団本部員、スタートコーチ(スポーツ少年団)インストラクター、山形県体操協会会長、庄内町学校運営協議会委員、社会教育主事有資格。平成29年度、山形県「子どもの生活習慣に関する指針(やまがた子育て5か条)」の策定委員を務めました。

※著書：「三川版保・幼・小接続カリキュラムの実践」「エッセイ集：出会い・触れ合い・支え合い 朝のさわやか歳時記」



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
乳幼児を持つ保護者	今、大切にしたい子どもの生活習慣 ～やまがた子育て5か条を親子で実践～	庄内町
小学生を持つ保護者	親子で楽しくトランポリン ～賢い子に育つ生活習慣～	庄内町
事業所の会員	未来をたくましく生き抜く子どもを育てる	酒田市
保育園・幼稚園・小学校教員	保幼小の接続期における教育の充実	酒田市
新入学児童の保護者	就学へ向け、小学校への期待を膨らませて (就学時健診)	鶴岡市
小学生と保護者	脳が喜ぶ生活習慣・運動習慣 (学校保健委員会)	鶴岡市

ご と う け い こ

後藤 敬子 氏 (酒田市在住)

《専門領域：命の誕生・思春期・性教育・生き方教育》

【プロフィール】

公立病院と行政で助産師、看護師として勤務。酒田市健康課子育て世代包括支援センター「ぎゅっと」に勤務し退職。令和2年に「ごっと助産院」を開設し院長として活動中。助産師、思春期保健相談士としての経験をもとに命や家族、生きることの大切さを伝えるべく、児童生徒世代から幅広い世代の方への講演活動を行っています。思春期教室から始まった命との関わり…。子どもや親たちの相談に耳を傾けながら、次世代を担う子どもたちと各世代の親たちの幸せを願い「命の尊さ、生きる力の大切さ」を伝えていきたいと思っています。

平成18年から庄内日報「ごっとさん、どうしよう…」を連載

平成19年に第29回母子保健奨励賞・毎日新聞社賞受賞 現在の天皇・皇后両陛下からお言葉を賜る

平成20年に「ごっとさん、どうしよう… ～思春期をめぐるSOS～」を出版

平成25年から山形県家庭教育アドバイザー就任

平成29年から酒田市広報に「大切な人へ」を連載



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
小・中・高校生	思春期の心と身体・自分を大切に…輝く命のメッセージ ・男女交際について・命の誕生と尊さ・デートDV・LGBTQ 等	庄内地域の諸学校 県内全域学校
小・中・高校生の保護者	就学児のおうちの方へ・思春期の子どもとの関わり方 ・子育ての不安と悩みに答えて	同上
保育園児保護者・妊産婦	乳幼児期に大切な心の栄養剤・0歳からの性教育	同上

か ね こ た け し

金子 健 氏 (鶴岡市在住)

《専門領域：特別支援教育(発達障がい)・子育て支援》

【プロフィール】

平成30年3月鶴岡市立朝陽第四小学校退職

平成30年5月「個別支援教室ここ」設立

日本LD学会会員

日本ペアレント・トレーニング研究会会員

特別支援学校や小学校の特別支援学級、通級指導教室等、発達障がいに関わる多くの実践を積んできました。

発達に凸凹があるお子さんへの学習支援、よりよい友だち関係を作る練習を幼児・小中学生対象に行っています。保育園に定期的に訪問して、園児への対応の仕方について保育指導員研修を行っています。

また、発達に凸凹がある子に、親としてどう寄り添いかかわるか、周りのおとなはどう接したらよいかなどについてお話ししています。



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
子育て中の保護者	「ペアレント・トレーニング」とは	鶴岡市
小学生の保護者	子どもを傷つけない対応～子どもをほめるための方法～	鶴岡市
新1年生の保護者	発達に凸凹があるお子さんについて～親としてできることは～	鶴岡市
保育園児の保護者	対応例から学ぶ適切な子どもへの声掛け	鶴岡市
小中学校教員	発達に課題のある児童・生徒へのソーシャルスキルトレーニング・学習支援方法	鶴岡市

丹治 亜香音 氏 (鶴岡市在住)



《専門領域：子育て支援・自然体験活動》

【プロフィール】

短大を卒業後、鶴岡のスポーツクラブのスイミングインストラクターとして勤務。その後、民間企業で働いたのち、転職した子育て支援の職場で一緒に働いていた3人で任意団体として「明日のたね」を立ち上げ、平成26年に法人化しました。令和4年から代表理事を務めています。

令和5年10月から県教育委員を務め、第7次山形県教育振興計画の策定に携わりました。

子育て支援センターを運営し、子育て中の親と子ども、庄内地域に暮らす高齢者の人たちがいつでも立ち寄れる「居場所づくり」をしています。さらに、「地域のいろいろな人＝第3の大人」として子育てを楽しみ、見守り、支える機会をつくっています。

小学生の長期休みの預かり事業「こども大学（楽）」や、幼児とその親を対象とした自然体験活動を行い、子どもの遊びと育ちを守る活動に取り組んでいます。子育てはチームで行うもの、地域とみんなの力で支えるものとして、「おたがいさま」と「おかげさま」で寄り添い、ともに育ちあえるよう尽力しています。

【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
未就学児とその親	ママとこどもの防災講座	庄内地域
幼児・小学生	自然体験活動・ネイチャーゲーム指導	庄内地域
家庭教育支援団体	地域全体で子どもや子育て家庭を見守り育てることができたなら…（団体活動紹介）	庄内地域

歌川 裕 氏 (酒田市在住)



《専門領域：家庭教育全般（小学生・中学生・子育て）》

【プロフィール】

昭和57年4月 山形県立鶴岡西高等学校（現鶴岡中央高校）で教員生活をスタート

昭和62年4月 酒田市立第六中学校教諭

平成12年4月 山形県教育庁庄内教育事務所指導課指導主事

平成15年4月 酒田市立第四中学校教頭

平成30年1月 子どもの自立を目指し、子育てに悩んでいる保護者の支援を目的にSR会を設立（現在代表）

平成30年3月 遊佐町立高瀬小学校を校長で退職

平成30年4月 遊佐町教育委員会社会教育課社会教育アドバイザー

令和5年4月 東北公益文科大学非常勤講師

子どもの自立を考える会「SR会（山形県唯一の文部科学省登録の家庭教育支援チーム）」では、子育てに関する講演会の開催や個別の子育て相談会、子どもの心の居場所づくりを実施して、親と子の悩みを解消するために支援の輪を広げています。

また、東北公益文科大学では、中高の教員を目指す大学生に公民科指導法の講義の中で、子どもの理解の仕方や学習意欲の持たせ方の指導を行っています。

【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
小中学生の保護者	子どもの見方、子ども理解について	酒田市
社会教育関係者	家庭教育支援の現場	三川町

令和7年度 山形県家庭教育支援推進協議会 名簿

番号	氏 名	役 職 等
1	佐藤 宏平	山形大学地域教育文化学部 教授
2	井上 聡子	さところ女性クリニック 院長
3	野口 比呂美	NPO法人やまがた育児サークルランド 代表
4	伊藤 健二	山形県PTA連合会 副会長
5	樋渡 美千代	山形県連合小学校長会（山形市立第十小学校）
6	土屋 常義	県家庭教育アドバイザー（村山地区代表）
7	阿部 彰	県家庭教育アドバイザー（最上地区代表）
8	小野 卓也	県家庭教育アドバイザー（置賜地区代表）
9	齋藤 雅志	県家庭教育アドバイザー（庄内地区代表）
10	鏡 明子	県しあわせ子育て応援部こども安心保育支援課長
11	森本 真紀	県教育局義務教育課 多様な学び推進室長

◇事務局

県教育局生涯教育・学習振興課

	飯野 典朗	課長（事務局長）
	木村 征子	課長補佐
	川田 大	社会教育主査
	小野 大輔	社会教育主査
	阿部 好弘	生涯学習主査
	佐藤 陽介	社会教育主査
村山教育事務所社会教育課	黒沼 里美	社会教育主事
最上教育事務所社会教育課	高橋 裕美	主任社会教育主事
置賜教育事務所社会教育課	大河原 佑介	社会教育主事補
庄内教育事務所社会教育課	櫻井 孝輔	社会教育主事

第2章の実践事例、第3章の県家庭教育アドバイザーに関するお問い合わせは、
各地区の教育事務所へお問い合わせください。

- ・ 村山教育事務所 社会教育課

TEL (0237) 86-8274 Fax (0237)86-8263

- ・ 最上教育事務所 社会教育課

TEL (0233) 29-1441 Fax (0233)23-5573

- ・ 置賜教育事務所 社会教育課

TEL (0238) 88-8242 Fax (0238)84-5700

- ・ 庄内教育事務所 社会教育課

TEL (0235) 68-1983 Fax (0235)66-3015

子どもの生活習慣に関する指針活用資料
家庭教育サポートブック
(講座・研修会のヒント集)

令和7年4月 発行
令和8年4月 一部改定

山形県教育局 生涯教育・学習振興課

TEL 023-630-2877 FAX 023-630-2874

E-mail yshogaku@pref.yamagata.jp